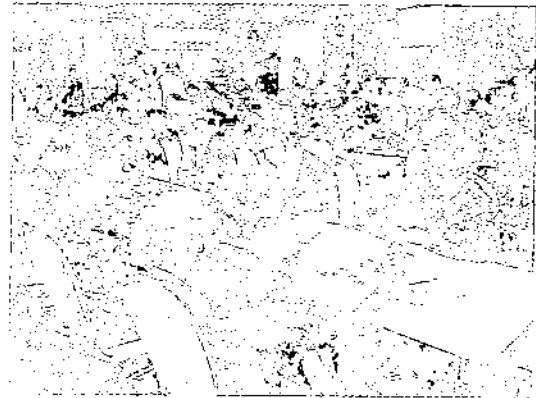


中 国 連 20 年 の 歩 み



神奈川県中学校園基連盟

創立二十周年記念誌

目 次

1. ごあいさつ	神奈川県中学校囲碁連盟会長 鬼丸 勉	1
2. 特別寄稿	元 東京都中学校囲碁連盟事務局長 小松 光太郎	2
	神奈川県囲碁連盟会長 平山 重松	3
	神奈川県囲碁連盟副会長 松本 泰男	4
3. 中囲連関係者より	元副会長 田中 弘之	5
	元理事長 石川 勝義	6
	元理事長 飯野 詮芳	8
	元理事長 仲野 隆一	9
	理事長 杵鞭 一郎	10
4. 生徒より	桐蔭学園中学校卒 高嶋 溪悟	12
	逗子開成中学校卒 出石 卓也	
	横浜市立秋葉中学校卒 武田 駆	13
	相模原市立東林中学校3年 田中 あさ美	
5. 思い出の写真など		14-19
6. 平成27年度年間事業計画		20
7. 神奈川県下中学校の囲碁部・部員数一覧		21
8. 役員一覧、歴代会長等		22
9. 大会記録		23-32



ごあいさつ

神奈川県中学校囲碁連盟
会長 鬼丸 勉

平成8年に発足した神奈川県中学校囲碁連盟も今年で20周年を迎えました。今日まで充実発展することができましたのは、小中学生に囲碁を普及させて小中学生の能力開発や健全な成長に繋げていこうとする学校のクラブや部活動の顧問の先生方、そしてそれを応援してくださっているボランティアの皆様方、県高等学校囲碁連盟、こども囲碁普及会、県囲碁連盟、日本棋院、神奈川新聞社、YOUテレビ等、多くの組織や団体、事業所の皆様方のご支援やご協力、後押しのお陰と感謝しております。

現在の神奈川県中学校囲碁連盟は県内中学校の教職員で組織されています。小中学生への囲碁の普及を通じて、小中学生の健全な育成と日本文化の継承を目指し、そのための活動として、今年度は県大会レベルの大会を8回、段級位認定大会を2回、顧問の先生方を対象とした研修会を2回開催しています。このほかにも、各大会でミニ研修会を開いたり、川崎、横浜、県央地区のように独自の大会を開催したりしている地区もあります。現在はどの大会にも多くの申し込みがあり、囲碁の有益性が社会的に認識されていることを実感しています。そして、特徴的なことはそれらの大会が参加校の顧問の先生方を中心に運営されていることです。小中学生の指導、引率、監督だけでなく、大会を自分たちの手で運営していくという自主自立の精神が伝統となって、連盟を維持発展させているのではないかと思います。また、大会によっては連盟OBの皆様やこども普及会の皆様等のご支援、ご協力をいただいていることや、マスコミ各社による本連盟に関する報道も私どもにとって大きな励みになっているところです。

平成10年、11年の学習指導要領の改訂によって、多くの生徒や教職員が囲碁に親しんできたクラブ活動が廃止になってから、部活動が学校での囲碁の存在を支えてきました。それが、平成17年に東京大学で囲碁を選択教科として設定して以来、その効果が再認識されたためか、囲碁に関する講座を設置する大学が増えているという流れも生まれてきています。中国の故事にある風流な人々の芸術的な遊びとしての「琴棋書画」。この中で、今の学校で扱われていないのは「棋」、つまり囲碁だけです。多くの有益な効果がある囲碁を一人でも多くの小中学生に体験してもらいたいと思っています。

これからも、囲碁を通して小中学生の健全育成を目指している本連盟の活動にご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。



神奈川県中学校囲碁連盟との思い出

東京都中学校囲碁連盟
元事務局長 小松 光太郎

まず、20年の歴史を刻まれたことをお喜び申し上げます。

東京都中学校囲碁連盟は、神奈川県中学校囲碁連盟より何ヶ月か遅れて結成しました。それからもう20年になるのですね。神奈川県中学校囲碁連盟20周年、おめでとうございます。その時点では、東京と神奈川とは直接の接点はありませんでしたが、東京の中学校囲碁連盟結成の中学校囲碁大会（平成8年11月）に、わざわざ、神奈川県中学校囲碁連盟の理事の先生がお二人かけつけて、お祝いをしていただきました。そこから囲碁を通じた多くの方との出会いが始まりました。私自身、囲碁の部活動を本格的に始めたばかりで、生徒を鍛えたい思いで、神奈川の大会に参加させてもらったり、また、東京の冬の交流大会に中野島中学校囲碁部が参加してくれたりして、囲碁を通じた輪が広がりました。中野島中学校の堀田先生は囲碁部活動に熱意があり、私も学ぶところがありました。そうした中で『週刊碁』（日本棋院）の企画記事で神奈川の理事長（当時）・水野先生を交えた対談（水野、金井、小松）があり、その記事が縁で、いずみ囲碁ジャパン・内久根会長と知り合うことができました。平成12年の、第1回関東中学校囲碁選手権大会（団体戦）につながったのです。詳しい経過は『関東中学校囲碁選手権大会・13年の記録』（平成24年12月）をご覧ください。中学校囲碁連盟を神奈川、東京以外にも、千葉や埼玉などに広げようという意気込みで「関東」を名乗ったのでした。今なお残念ながら、神奈川、東京にしか中学校囲碁連盟はありません。いつかこの輪が広がることを期待して二つの連盟は20年がんばってきました。私や神奈川の石川先生（元理事長）もリタイヤ組となりましたが、あとに続く先生方が、今、奮闘中です。

神奈川の20周年記念誌ということなので、もう少し続けます。神奈川の囲碁部顧問の先生方とのつながりを求めて、私は、綱島の保養所・浜京（今は廃止されている）まで出かけて、神奈川県中学校囲碁連盟の総会や囲碁研修会にも参加させていただきました。囲碁の棋力がさっぱりな私は、山田先生や吉田先生にも協力していただいて参加しました。今となっては、懐かしい思い出です。（手元に囲碁関係の資料がなく、心許ない記憶に頼って書いています。記憶違いがあるかもしれません。間違い等、お許し下さい）



「ペッパー君と囲碁普及活動」

神奈川県囲碁連盟
会長 平山 重松

私とA I（人工知能）との出会いは、パソコンのA I将棋ソフトです。6年ほど前から始め、以後毎回3回以上対局して楽しんでおります。

今後A Iとロボットの進化が進むと、早ければ10～20年後には、国内労働者の約49%がロボットに代替可能になると言う研究発表が、野村総合研究所からありました。関係者によるとそれは更に早まり、特に生産性の低い職種から既に始まっているとのことでした。

ネット社会の到来と進化を考え、3年前よりシンクタンク「碁ルネサンス《GOR》」を立ち上げました。月一回のペースで定例研究会を開き、ネット社会における囲碁普及活動をテーマに学生を中心に取り組んでいます。その成果としてマニュアルを作成し、関係団体や関心を持たれている方々に配っております。今年からは日本とフランスをネットで繋ぎ、学生を中心に各10人のチームで囲碁ネット対局を2回開催しました。特にニコニコ動画を通して、ペッパー君（人型ロボット）がフランス語と英語でフランス側の対戦相手にメッセージを送り、対局者双方の選手の自己紹介の後に対局を始めました。ペッパー君が囲碁普及の大使として、どの様な役割が相応しいのかとGORでは、その為のソフトウェアを考えながら、これからも取り組んで行きます。

I Tの聖地であるシリコンバレーでの経営者の間でも、熱心な囲碁ファンがいて、中でもマイクロソフト社創業者のビル・ゲイツ氏は特に有名です。私は、I Tの「0」と「1」の組み合わせ構造と囲碁の「白」と「黒」の組み合わせの中に、限りなく共感するものがあるのではないかと感じています。

複雑な21世紀がA Iとロボットの進化が進行している変化の中でターニングポイントに遭遇しているチャンスに集中と選択、勘、閃きのベーシックとして、囲碁に親しんでみては如何でしょうか。

今般の神奈川県中学校囲碁連盟が20周年を迎えられました事を、心からお祝い申し上げます。これからの10年間で更に活発に発展される事を強く期待しています。



囲碁と私

神奈川県囲碁連盟
副会長 松本 泰男

神奈川県中学校囲碁連盟の創立 20 周年、誠におめでとうございます。

私は「神奈川県囲碁年鑑」の編集を通じて、本県の子供たちの活躍はつぶさに見てきました。本当に凄いと思います。毎年のように誰かが全国大会で優勝し、プロ棋士も輩出しております。これらの子供たちが大きな影響を受けたのは、中囲連の活動の賜物であります。それにつけても、教育現場でご多忙な先生方が、更にこれ程の活動をされるとは、御苦労いかにばかりかと拝察いたしております。

一方、囲碁は必ずしも強くならなければならない、というものでもありません。言い尽くされた表現ですが、頭脳の発育、相手を思いやる心など、子供の成長過程での人間形成に大いに役立つことが、山のように詰まっています。

「君もこれから社会人になるのだから、囲碁の嗜みくらい必要だよ」と、私は高校時代のアルバイト先の社長から無理やり囲碁を教えられました。昭和 35 年、高知県の商業学校を卒業し、東京の会社に就職しましたが、高度成長期の仕事は猛烈で、残業や休日出勤はざらでした。囲碁を楽しんでいる棋友を横目に、がむしゃらに働きました。会社でも碁が評価されたことはありません。何しろ、私が東京都大会で優勝した新聞記事を見た上司から「君、囲碁打つのかね？」と聞かれた程ですから。

しかし、囲碁から学んだ、「先ず現状認識」「将来まで考えて行動」「困難に会えば何とかシノぐ」「相手にも与え自分も頂くバランス感覚」等は、本当に私の力となりました。今にして思えば、私に囲碁を教えて下さったこの経営者は、私にとって大恩人です。

頂いた御恩は、まだまだ続きます。

子供や女性にも囲碁を普及させたいという夢をかなえるため、会社勤めを自ら 55 歳で「定年」と決めました。家内の猛反対を押し切って「貧乏を楽しむ」事にしたのです。その内、囲碁講座講師のお声がかかり、家内との約束通り「お小遣いだけは自分で稼ぐ」という状態になりました。まさに“芸は身を助く”となったわけです。

同時にスタートしたのが県アマ囲碁界の世話役です。これもやり出したら徹底的にやる癖が出て、「神奈川県囲碁年鑑」を発案、創刊し、14 年間も編集を続け、日本棋院の和田理事長から絶賛されもしました。会社勤めの頃より熱を入れたような気がします。囲碁ファンの高齢化が案じられて久しいのですが、私共が幾ら頑張っても、囲碁ファンを子供の頃から組織的に育成する事は大変困難です。

神奈川県中学校囲碁連盟の皆様が、益々ご活躍されます事を期待するばかりです。

* 松本 泰男 氏の 棋歴 (松本 泰男 囲碁教室教材集 = 「私の名刺」より)

朝日アマ十傑戦・毎日アマ本因坊戦・神奈川新聞十傑戦・報知アマ最強戦等の棋戦で、優勝・代表等、合計 18 回。全国大会での成績……5 位 2 回・ベストエイト 1 回



囲碁・中囲連をふりかえって

神奈川県中学校囲碁連盟
元副会長 田中 弘之

囲碁との出会い

大学時代に中川中学校で管理人（夜間の警備員）をやっていたときに、よく、先生方が夜、職員室で囲碁を打っていました。それを見ていてルールを覚え、高橋功先生や他の先生方と打つようになりました。

教職につくと、組合の囲碁大会があることを知り、参加を希望しましたが、当時は囲碁人口が多く、支部で予選会が開かれるほどで、大会に参加することができませんでした。

転勤をして、大綱中になると、囲碁を打たれる方が多く、放課後、机の引き出しを引いてその上に碁盤を置いて打っていました。いまでは考えられないことです。このころ、囲碁教室や碁会所にも行くようになりました。

富岡東中に転勤すると、公務が忙しく、囲碁を打つことはありませんでしたが、次の転勤先の市場中で初めて囲碁部をつくりました。部員獲得と生徒指導のために、昼休みに廊下で連珠や9路盤での囲碁をやっていました。

中学校囲碁連盟との関わり

14年前に野庭中学校で囲碁部をつくり、級位認定大会に出たことが最初でした。出来たばかりで部員の棋力も低くB級戦に出場したものの、3連敗同士で部員同士が当たり、一人だけが級位の認定をされ、他は級の認定をされずという結果でした。その後は部員の棋力も上がり、団体戦のB級で優勝し、A級戦に昇格しました。

そんなころ、飯野先生の退職に伴い、役員が不足になることの相談をしている時にたまたまそばにいたところ、会長だった高橋功校長に声を掛けられ、断り切れずに役員を引き受けることになりました。

平成16年に会計になり、大会運営に携わるようになり、募集要項等インターネットに乗せるようになると、自分の名前で検索すると検索できておもしろかった。

また、大会のため盤石の運搬があり、生徒たちだけで会場に来させたところ、20分ぐらい遅刻をしてしまい、1回戦不戦負け、その後3連勝しただけに後悔したことなどを思い出します。

10年あまり、中学校囲碁連盟とかかわりを持たせていただき、たくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございます。



創立 20 周年に寄せて

～ 20 年を振り返って～

神奈川県中学校囲碁連盟
元理事長 石川 勝義

連盟創立 20 周年おめでとうございます。ここまで連盟の活動に携わっていただいた全ての方々に感謝の意を表します。

連盟設立当初から関わったひとりとして、この 20 年間を振り返ると様々なことが思い出されます。連盟設立時には、3 校（中学校）による団体戦を行いました。全国に先駆けて中学校囲碁連盟ができ、大会は、第 1 回神奈川県中学校囲碁選手権と銘打って行いましたので、地元の神奈川新聞社をはじめ、日本棋院の新聞「週刊碁」や雑誌「碁ワールド」でも記事として大きく取り上げていただきました。「3 人揃えば何とかなる」という水野理事長の強い想いで実施され成功裡に終わりました。それまで横浜市立の 3 校で県大会を行うという発想は私の考えの中にはありませんでしたので、水野先生のチャレンジ精神には驚きとともに頭が下がりました。

それから、5 年後、神奈川県小学校囲碁連盟が設立し、ヒカルの碁のアニメがテレビで放映されるようになって、小中学生の囲碁人口が増え、神奈川県の小中学生の囲碁大会への参加者は 300 名を超えるようになりました。大会会場を 2, 3 カ所に分散して開催することも多くなりました。この先 400 名やそれ以上になったらどうしようと、会場探しを真剣に考えたこともありました。そんな中で、事故が起こってしまいました。個人申し込みの女生徒（中学生）でしたが、前歯を折る大けがをしたのです。大会の開会式後、隣の建物に移動する際に道路に張ってあったチェーンに足を取られてつまずいてしまったのでした。このときはとくに会長の三橋先生が心配されていたのを思い出されます。主催者側の責任問題に発展することも考えられましたが、親御さんの理解を得て、それ以上の問題にはなりません。それ以後の大会では、安全面への対応等強く意識するようになり、募集要項や大会のしおりに注意事項として、いくつかの具体的な項目が盛り込まれました。

また、インフルエンザが流行した年は、大会会場に消毒液をおいたり会場でマスクを配ったりしました。栄会長の時でしたが、その年度の最後の囲碁大会（ジュニア本因坊戦）＝2012.3.4＝は中止せざるを得なくなりました。事務局担当者会では実施する方向で準備を進めていましたが、栄会長の決断で中止となりました。大会の最高責任者の一声に重みを感じた一瞬でした。その他、大会の準備の不手際等で参加者の親御さんからお叱りを受けたり、賞状の一部を忘れて後で届けたりと様々なことがありましたが、今では懐かしい思い出となっています。

話を元に戻します。大会では、認定基準が気になりますが、神奈川県の子どもの大会認定基準は、小学校囲碁連盟で活躍された土尾先生がその大本を作られました。現在も県の大会ではそれを踏襲しているとともに、日本棋院主催の子ども囲碁大会の認定基準もそれを参考にして作られています。上尾先生は、子どもの囲碁指導にとっても熱心に取り組み、9路盤に9子を置く置き碁を考案しました。それには、プロの高木祥一九段も驚いていましたが、私も多くのことを学ばせていただきました。

次に、連盟の自慢話になりますが、今年で12回目を迎えた、『小中学校囲碁団体戦全国大会』（当時の日本棋院の理事長加藤正夫九段が提唱された）は、神奈川県中学校囲碁選手権大会がモデルとなっています。「継続は力なり」を具体的に形に表すことができた一つと言えます。

さて私自身について書かせていただきます。2000年、第一回関東中学校囲碁選手権大会が開催された年でしたが、私は突発性の難聴に罹ってしまいました。当時連盟の事務局長をしていましたが、それにも支障が出てきて、急遽大澤先生に代わっていただくことになってしまいました。それからの3年間は、大会当日の運営の手伝いだけとなってしまいました。大澤先生に助けていただいたことは今でも忘れることはありません。また、大会後の反省会や研修会などでは、多くの方々と出会い、多くの友人がたくさん得られました。それは私にとって大きな財産となっています。なかでも飯野先生には、酒好きな私の誘いをいつも快く引く受けて付き合ってくださいました。

最後に、28歳で囲碁を覚えた私は、初段には比較的苦労せずになれましたが、二段の壁が厚く3、4年は足踏み状態が続きました。が、高校の職員の研修会に参加させていただき、その翌年には二段に昇格できました。高校囲碁連盟の先生方は「お酒も強いが囲碁も強い」というのが私の印象でした。とくに亀井先生（理事長）や小座野先生（亀井先生の後に理事長になられた）には大変お世話になり多くのことを学ばせていただきました。

大澤先生、飯野先生、高囲連の先生方、ありがとうございました。連盟のさらなる発展を期して、筆を置きます。

囲碁雑感

神奈川県中学校囲碁連盟

元理事長 飯野 詮芳

神奈川県中学校囲碁連盟が20年目を重ねられたことは、なんとも嬉しい限りです。

囲碁は柔軟で広く、文化系、理数系、芸術体育とすべての方面から発想ができます。読みを重視する人、定石や形をイメージする人、様々です。それ故に、悩ましく、難しく、奥深い、不思議なゲームであり競技でもあります。それゆえに自分の思いどおりに展開できた時の面白さは最高です。力量により何を考えるかは様々ですが、それなりに楽しめる事が囲碁の素晴らしいところです。

囲碁は中国ではマインドスポーツの分野として位置づけられています。私もまったく同感です。囲碁は年寄りがやるもの、室内で頭脳だけで対局しているようなイメージを持っている方々が多くいます。ところが実際は競技スポーツのように、熱く燃えているのです。

私は横浜市の教員になってから、バレーボール部の顧問を20数年間してきました。幸い市大会、県大会でも優勝できました。そうしたバレーの指導の中で、囲碁との共通点が多いことに気づきました。パスなど基本的な練習は定石を何度も並べているようです。本を読んだり、先生に聞いたり、プロの棋譜を並べたりして技術を高めるのも同じです。また、時間とともに変化する局面を、適切な判断や決断で乗り切らなければなりません。高い技術とともに、長時間集中できる体力と気力が必要です。バレーボールのように汗水は出ないでしょうけれども、真剣さは一緒です。

晩年は個別支援の指導に携わりました。囲碁部は、普通級の生徒と個別支援級の生徒が同数くらいでした。普段は関わりの少ない生徒たちが囲碁を通して交流ができました。対局を通じて、数列・加算・引き算・数の大小・多少、遊ぶこと、会話、個人の尊重、礼儀等を自然に身につけることができました。大会の参加では待ち合わせ、交通機関の使い方、団体行動、他校生徒との交流やマナーなど、社会の一般常識を学べたことは、大きな成長につながりました。囲碁はそうしたことを学ぶ、とても良い教材と確信しています。また、囲碁を教材とした個別支援の研究授業や、全先生方に囲碁を知ってもらう研究会を実施したこともありました。

発足7年目を迎える頃に、名前だけで良いので理事長にと声をかけていただき、以降六年ほどやらせていただきました。アニメのヒカルの碁が放映された頃でしたので、会を重ねるたびに盛り上がり、人数がふえていきました。会場をさがすのも大変で、横浜と相模原の2会場となりました。運営方法も熱く語り合いました。盤石の不足、自家用車や赤帽での運搬もありました。スイス方式も取り入れました。大会参加費用は小中学校の考え方が違いがあり難題でした。小学校囲碁連盟の立ち上げを喜んだのですが、続けられなかったのはとても残念でした。理事長を務めていた間、忙しいこともありましたが、楽しい日々を過ごすことができました。大会運営の実質的な仕事では、石川先生、大沢先生、杵鞭先生、仲野先生は特筆です。現在の土台を創っていただきました。中学校の部活動顧問の皆さんの協力もまた素晴らしかったです。今後の連盟の益々の発展を期待してやみません。



私と中学校囲碁連盟

神奈川県中学校囲碁連盟
元理事長 仲野 隆一

神奈川県中学校囲碁連盟創設20周年、まことにおめでとうございます。

私が神奈川県中学校囲碁連盟（以下中囲連とします）に関わりを持つようになって、早いもので15年ちかくなると思います。15年前、私は川崎市立向丘中学校でサッカー部の顧問として毎日放課後活動していました。囲碁の方は義父が囲碁が大変好きだったこともあり、毎週末義父と囲碁を打っていました。

私が45才頃のことです。そんな冬のある日、学校の備品倉庫を同僚の先生と整理をしていると、折りたたみの碁盤やらガラス製の碁石セットが10セット以上見つかりました。ほこりは被っていましたが、十分使えるものばかりです。そのときなぜか「囲碁部を作れるかも知れない」と言うことが頭に浮かびました。すぐに校長先生、教頭先生に囲碁部創設のことを相談したところ、「運動部は大変だけれど、文化部は数が少ないし、いいんじゃないですか」と前向きな言葉をいただきました。そこで、この年の新学期の部活顧問会議に囲碁部創設の件を提案したところあっさり承認され囲碁部をスタートすることができました。反対意見がたくさん出たらどうしようとか、いろいろ心配もしていたのですがちょっと拍子抜けでした。部員も6人集まり、自分でも頑張ろうと気合いが入ったものでした。

ちょうどそんな時に、当時の中囲連事務局長の大澤先生による中囲連を紹介する記事が、日本棋院発行の月刊囲碁クラブ（現在の月刊碁ワールドの前身）に掲載されました。偶然この記事を読んだ私がすぐに大澤先生に連絡をとったところ、「次の大会が〇月〇日に始まるので是非参加して下さい」という温かい言葉をもらい、大会に参加させて頂きました。たしか7月の神奈川県中学校囲碁選手権大会だったと記憶しています。県内で中学生による囲碁大会が行われ、多くの中学校、生徒が参加しているのには驚かせられました。さらに、この年の中囲連と小囲連（残念ながら今は休止状態）の合同総会が今は無き綱島の保養所『浜京』で行われ、学校関係者以外にもとても多くの人たちが中囲連に関わっていることを知り、目を丸くしたものでした。

以後10数年中囲連の運営、各種大会の運営に携わらせてもらい、自分を成長させて頂いたと感謝しています。これも、囲碁を通じて多くの人と巡り会うことができたお陰だと考えています。囲碁には人と人とを結びつける大きな力があるとつくづく思います。また、この人と人との結びつきが大きな力を生むことも確信しています。

これからも多くの人たちとの新しいつながりを生みながら、中囲連がますますの発展をしていくことを願ってやみません。



神奈川県中学校囲碁連盟 20年

神奈川県中学校囲碁連盟
理事長 杵鞭 一郎

神奈川県中学校囲碁連盟（以下、中囲連）が20年を迎えられたこと、皆様に感謝申し上げます。

中囲連が20年目を迎えた今、気がつくくと、私は一番の古株になってしまいました。水野先生が県の教員の囲碁大会で中囲連の活動をお話しされ、大会に参加していた私がそれを聞いて、水野先生に質問したのが始まりでした。その熱意に圧倒されました。

中囲連は、現役の中学校囲碁部の顧問教師が作る連盟です。昨今の囲碁人口の高齢化、30歳代や40歳代の囲碁人口の少なさが、中囲連にも直撃しています。中囲連を支えてきた、多くの先生方が定年を過ぎ、その部活動を引き継ぐ囲碁を愛する先生方がなかなか各中学校にいません。公立校は、数年で転勤もあり、生徒減・教員減の中で、転勤先で新しい囲碁部を作ることの困難さもあります。近年は、囲碁を打たない（知らない）顧問の先生方が中囲連の半数より多い現状です。近年、大会（団体戦）の時に同時に「顧問初級教室」で囲碁研修を、夏休みに「部活動顧問会議」で囲碁部運営の研修を行っています。

生徒の囲碁人口は、安定してきました。「ヒカルの碁」の囲碁ブームが終わって以降大会参加者が減少し続け、10年近く前は、大会参加者の減少で中囲連の運営が困難な時期があり、スポンサーを探し、大会の時に参加者に配るしおりに、何件も広告を載せました。しかし、囲碁ブームにはとどかないものの、その後は少しずつ参加者が増えてきて、安定しています。中囲連の各中学校が新入部員獲得に努力していることが、とても大きいと思います。

中囲連は、今から20年前に第1回神奈川県中学校囲碁選手権大会を横浜市立豊田中学校で4校の参加で開催し、スタートしました。今年度は、83チーム、262名の参加で第20回大会（文部科学大臣杯小、中学校囲碁団体戦神奈川県予選を兼ねる）を開催しました。その他に、神奈川県中学校囲碁選手権大会新人戦、少年少女囲碁大会、ジュニア本因坊戦、段級位認定大会、川崎地区中学校囲碁大会、川崎地区中学校囲碁大会新人戦、県央地区中学校囲碁大会、県央地区中学校囲碁大会新人戦、横浜市囲碁交流戦、私立中学校高等学校囲碁選手権大会、首都圏カップ争奪こども囲碁団体戦、くらしき吉備真備杯こども棋聖戦神奈川県予選、等の囲碁大会を開催しています。また、夏の部活動顧問会議と冬の顧問囲碁研修会等、年間で合計20回を越える事業を行っています。

現在、神奈川県小学校囲碁連盟（以下、小囲連）が活動を停止していますが、その事業

を中団連が引き継いで活動しています。しかし、中団連は中学校の囲碁部顧問のみの団体であり、願わくば将来、小団連としての活動を再開させていただける方が現れることを期待しています。

今年3月、私と、前理事長の石川先生の2人は、日本棋院から「普及活動賞」をいただきました。この賞は、「県碁界の囲碁普及や入門者、初級者の育成に貢献した」個人に贈られる賞です。個人に贈られる賞ですが、この賞は、私個人ではなく、中団連がいただいた賞です。中団連を代表して、胸を張って授賞式に参加してきました。神奈川県囲碁連盟（以下、県囲碁連盟）からの推薦があつての受賞でしたが、中団連の活動が県囲碁連盟の方々から認められたことの証だと思えます。

また、近年、小学生、中学生、高校生選手の全国大会での活躍、プロ棋士の新人段者と、神奈川県全体の囲碁界の隆盛が見られます。また、県内の十傑戦等にも10歳代選手の入賞が増えています。中団連の活動が、その原動力の一つになっていることは間違いありません。

囲碁の効果や良さは、今さら私がここで言うまでもありません。だから、私は自分の勤務する学校で、転勤のたびに囲碁部を創り、生徒に囲碁を教えています。

近年は、東大、早大、慶応大、東京学芸大、京大、大阪大等、20校を越える大学が、囲碁を授業として行っており、その数は今後まだ増えると言われてしています。

半面、上述の通り、各校の職員室の中の囲碁人口が極端に減っています。（上述の県の教員の囲碁大会は、数年前から参加者減で、退職者と合同開催になっています。）

囲碁部の新規創設は少なく、逆に顧問の先生の転勤による囲碁部の消滅もあります。各中学校で囲碁部を維持していく努力を続けている中団連の一人ひとりの先生方の努力に感謝申し上げます。逆に、現職の教員だけで組織する中団連が、全国で神奈川県だけであること、そして、中団連が元気に活動していること、そして、今現在その活動を大きくしていることに胸を張りたいと思えます。

私たち中団連のメンバーは、日常の教員としての仕事と両立させながら、今度も子ども達への囲碁普及を目指し、中団連の活動を盛り上げていきたいと思っています。中団連OBの先生方、関係の方々のご支援、ご協力に感謝し、今後ともよろしくお願ひしたいと思えます。



桐蔭中学校卒
高嶋 溪悟

このたびは、中学校囲碁連盟創立 20 周年おめでとうございます。
連盟の方々は普段は教師として、生徒たちを指導する多忙な日々の中で、放課後や週末などに囲碁部の活動を支援してくださっています。その大変さは苦勞の一言では言い表せないことと思います。

そんな先生方のご尽力により、私たちは囲碁を通して、充実した学生生活を送ることができているのです。伝統文化としての囲碁を過去から現在、そして未来へとつないでいこうとする意志の力が、連盟の原動力になっているのだと思います。

私も中学生時、文部科学大臣杯他色々な大会に出場させていただき、その都度連盟の先生方には大変お世話になりました。先生方の支えによって今の自分があるという感謝を忘れずにこれからも囲碁を続け、後進に繋いでいきたいと願っています。

.....



逗子開成中学校卒
出石 卓也

私は中学生のとき関東大会に数度出場させていただきました。私は当大会の団体戦では主に副将として参加していました。当時の私のチームの主将は高段位で、私は段位を得てもおらずかなりのデコボコチームでした。そのため大会では、私より高位の段級位を持つ方と打つことが多く、チームとして勝つことはまれでなくても、私が勝つことはまれでした。大会に出場するときは、当然負けるだろうと確信しつつ打っていた時期もありました。しかし中学 3 年のときの県予選において、チーム全国大会進出の可能性があった試合において、負けられないと思って打った時、いつもより良く打てたことで自身の囲碁に対する姿勢が前向きになったように思えます（その試合はたしか負けましたが…）。

ところで関東大会のことですが、普段は部活内ないし県大会で打つため、同じ方と打つことが多い中学生にとって他県の方と打てる機会である関東大会は自身の碁に新しい風を入れる良いチャンスであります。なので、現中学生のみなさんが関東大会で普段得難いような経験をしていただけることを願います。神奈川県中学校囲碁連盟の 20 周年を祝賀し、またこれからの連盟と囲碁のより一層の繁栄を祈願しつつ私はここで筆を置かせていただきます。



相模原市立東林中学校
3年 田中 あさ美

私は小学生の頃から祖父に教わり将棋をしています。中学になって、将棋がしくて入部した囲碁将棋部で、先生や先輩に教えられ、囲碁を始めました。

部活動では、関東大会のA級戦優勝や、県大会で4位に入って全国大会に出場することができました。すべて団体戦で、この経験を通して私は、協力の大切さを学びました。

囲碁の良いところは、普段の生活での教訓があるところだと思います。例えば、欲張りすぎると失敗することや自分が引けば相手も引いてくれることなど、会話に似ていると思います。囲碁をやっていて、友達とより楽しく話せるようになりました。

高校に行ったら囲碁部がないので、今より練習する機会が減ると思いますが、一生楽しめるスポーツだと思うので、大人になっても続けていきたいです。このような経験をさせてくださった先生方に感謝します。ありがとうございました。

.....



横浜市立秋葉中学校卒
元部長 武田 駆

中学校で3年間囲碁を続けることで、とても多くの事を経験し、学ぶことができました。その中でも、どんな相手からもより多くの事を学び取ろうとする姿勢を持つことは、自分自身の成長にとってもためになっています。

私の中学校では、顧問の先生が年に数回程度、地域の方々と囲碁部の交流会を開催してくださっていました。そこでお年寄りの方々だけでなく、小学生と囲碁を打つこともありました。囲碁は実力が年齢とあまり関係ないので、小学生の中に私よりも強い人もいたので、相手が誰であれ積極的に学び取ろうとする姿勢を持つことが出来るようになりました。

高校に入学して今までよりもより広い交友関係を持つようになり、いろいろな事で自分ではかなわないと思う友人が増え、彼らから日々多くのことを学び取ることができているのも、囲碁を続けることで身につけることの出来た学び取ろうとする姿勢のおかげだと思っています。

世代交代進む県団碁界

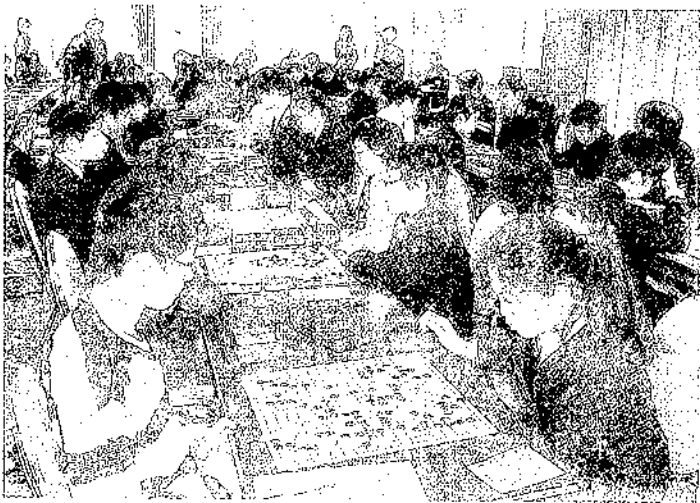
指導環境など好条件がそろそろ

1月に行われた第60回県団碁十傑選大会(神奈川県新聞社と県団碁連盟主催)で、中学生2人を含む10代、20代の若者が6人も十傑入りし、県団碁界に衝撃が走った。大会史上空前の出来事で、世代交代期に入ったとの声も聞かれる。神奈川の子どもたちが活躍する背景と実情を探った。

(山本 正)

県団碁十傑選は、県内ベスト10と順位を決める大会

2日間に分かれて開催されたジュニア本因坊神奈川大会と県小中学校団体碁選定大会には、約350人が出場した
11月26日、相模原市民会館



で、腕に覚えのあるアマ強豪なら誰でも十傑入りを夢見る。ここには県内14会場の地区予選に140人が参加。勝ち抜いた40人にシード選手を加えた計63人で本予選を行い、通過した16人が十傑入りを競った。全国クラスの強豪でも入賞するのは簡単ではない。昨年はアマ名人戦全国大会で準優勝した永代和盛が、今回も前年の優勝者で県大会3冠の高根宏之らが十傑を逃した。大会のレベルを示す好事例だ。

ジュニア台頭の兆しは2002年の第50回大会。高

3だった白首第一(現プロ四段)の初出場での優勝に始まる。09年は17歳の若石隆志(現プロ初段)が史上

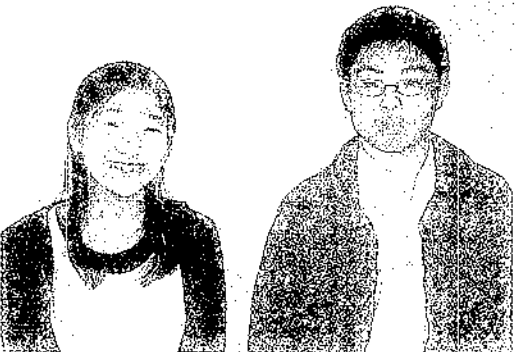
最年少優勝。その勢いでアマ名人を獲得し、さらに翌年、史上初の各人位防衛は全国的にも話題を築いた。彼らが育った背景を、長い指導者がおり、競争相手が大きいたことが大きい」と話すのは、本紙解説者の佐々木慶。県十傑選優勝9回を誇る佐々木は、藤沢市で碁会所を開き、後進の指導に当たる。他にも県内で教室を開く強豪は多い。全国大会でも、神奈川勢

の強さをみることができると。少年少女大会では、小学生の部で04年に金沢寛(現プロ三段)が、10年には重田一就が優勝。06年は大関稔が準優勝、斉藤正樹も3位に入賞した。中学生の部では10年に佐野飛鳥が準優勝、10年のジュニア本因坊戦では石原康祐が優勝した。

年設立された「県小中学校団体碁選定」も普及に大きな貢献を果たす。現在は小学生大会も運営し、年間8大会で計1500人以上の小学生が参加している。榊原一郎事務局長は「とにかく保護者が熱心で協力。大勢の親が対局を見守り、選手の挨拶を採る文芸もいる」と話す。

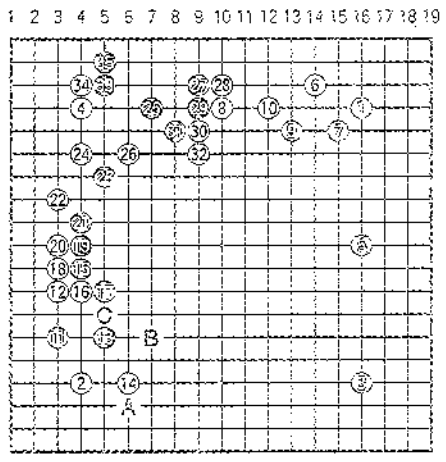
団体戦での実績も豊富だ。小中学校団体戦中学校の部で横浜中が07年に優勝し、翌年は準優勝。小学校の部では06、07年に横浜市立川島小が、08年は横浜市立大豆戸小が連覇した。高校世代では女子の高藤が自覚ましい。09年の高校選手権女子団体で日本女子大付属高が準優勝。昨年は大村高が準優勝。昨年は女子個人で谷村衣子が優勝し、同団体も谷を大将とした湘南白百合学園が3位入賞したのは記憶に新しい。全国に先駆けて1996

早くから子どもの英才教育を目指し指導にあたる輩。出雲名門アマ本因坊・藤原市在住の川本一実家業の碁士家が子どもたちの棋戦を助けてくれたことが、刺激になった」と指摘する。そのひとつ、県ジュニア十傑選は、2003年から7年間開催され、多くの強豪が言った。「神奈川の環境と土壌のもとに実を結んだのでしょ。世代交代が進むだろうと前から感じていた。今後の活躍が楽しみ」と原田は話している。



県団碁十傑選で中学生初の入賞を果たした谷村衣子(左、6位)と湘南白百合学園中2年(右)、前田颯(8位)と県立平塚中等教育学校3年

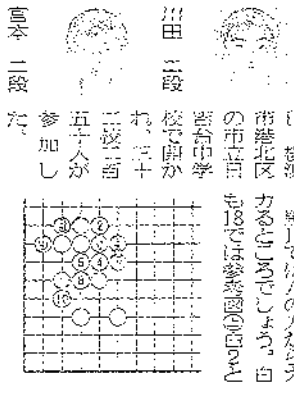
第9回 原中学校
碁盤大賞
 第1 詰 (35)
 (1) 二段 川田 徳寛
 (2) 二段 高木 浩平 (平塚市立彦根中)



白28は白の
 弱さを狙い
 打った。白
 は26と反逆し
 ましたが、実
 戦の28以下34
 までの打ち方
 では黒が楽に
 なりました。
 白28では参
 考図の白とど
 ち、右辺の
 打ち(1)より
 打(2)の方が
 有利です。

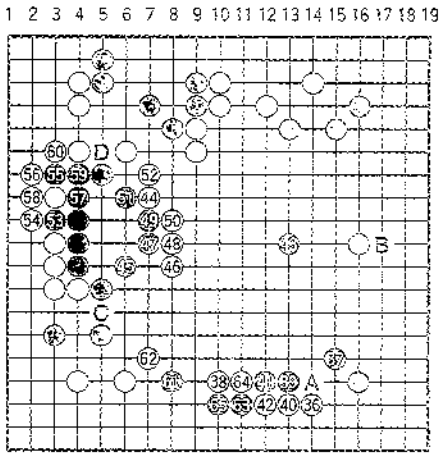
「甲斐流」の構え

第九回原中学校碁選 田君は武宮九段の「甲斐流権大会」原中学校碁選「甲斐流」を研究して、この「甲斐流」が七月二十三日



只、碁盤 黒1ではAの方が力
 市原北區 方る(1)より、白
 の市原南 区はBの方が
 有利です。
 原中學校 碁選で勝つ
 られた。二
 段 碁選で
 勝つた。五
 十人が参
 加した。

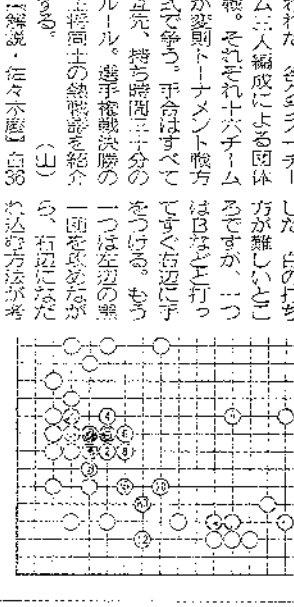
第9回 原中学校
碁盤大賞
 詰 (36~65)
 (1) 二段 川田 徳寛
 (2) 二段 高木 浩平 (平塚市立彦根中)



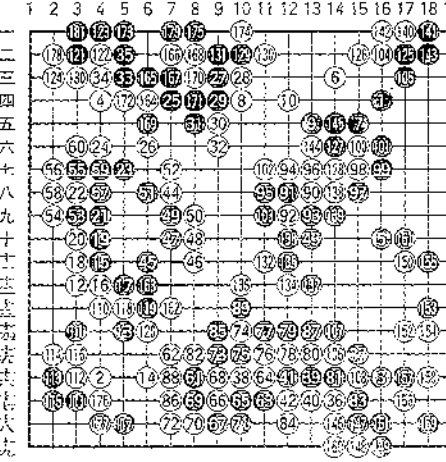
白44が攻め
 方として問題
 視された。次
 の黒45がその
 弱さを狙い、
 右辺の黒1位
 を安心する良
 い手で、黒の
 打ちやすい基
 形です。白44
 では参考図の
 ように打つ
 て、もう一
 手をいじめ
 たかった。

黒打ちやすい

大会は選手権戦のほ
 か、棋力別にA、B、C
 の三クラスに分かれて行
 われた。各クラス一
 ム三人編成による団体
 戦。それぞれ十六チ
 ムが参加し、トーナ
 メント戦方式で争
 う。予選はすべて
 五先、持ち時間三十
 分。選手権戦決勝の
 主審高土の執裁を絶
 える。(山)



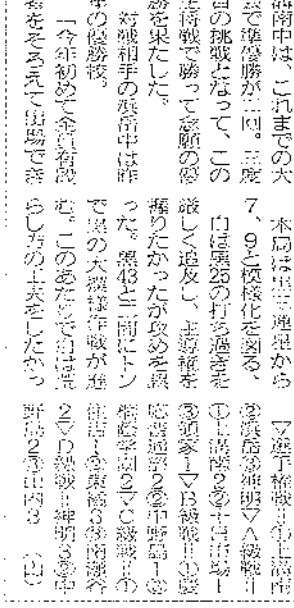
第9回 原中学校
碁盤大賞
 詰 (181)
 (1) 二段 川田 徳寛
 (2) 二段 高木 浩平 (平塚市立彦根中)



白44が攻め
 て黒55と翻え
 ては黒の有利
 な形勢。本局
 は原の大碁選
 化をいかに進
 止するかを勝
 負の公がけに
 打った。
 局後一も少
 し早い段階
 で黒は白に
 打っていき
 ました。本
 局の反省の
 た。

大規模作戦

原中中は、これまでの大
 規模作戦が三回。三度
 目の挑戦となって、この
 主戦で勝つて総額の優
 勝を果たした。
 好戦相手の碁選中は昨
 年の優勝者。
 「今年初めて全日本碁
 選をこなして出場でき
 る。このあたりで自分
 らしい碁の土を打った」
 野田(山)



平成26年度 普及活動賞

【各都道府県の受賞者】

平成26年度の普及活動賞の受賞者は下記の方々に決定いたしました。どなたも支部の活動にとどまらず、棋界の囲碁普及や入門者初級者の育成に貢献された方ばかりです。受賞者の皆様には、日頃ご苦勞に感謝するとともに、今後ますますのご活躍を心から祈念いたします。

辻村絵 (北浦和支部幹事長)

〈千葉県〉 上坂日 (津田沼支部幹事)

〈東京都〉 吉本清史

(西会支部ジュニアクラブ指導員)

笠原浩

(多摩市囲碁教室支部講師)

中西陸

(囲碁未來愛好会支部幹事)

早川博 (青梅支部長)

澤田昌行 (大島支部長)

加納修子 (アトムネット支部)

〈神奈川県〉 石川求

(横浜栄支部副支部長)

臼井道雄 (横浜栄支部副支部長)

◎ 石川勝義 (京浜川崎クラブ支部)

◎ 杵鞭一郎 (相模原支部)

〈新潟県〉 加藤三郎 (上越支部長)

〈山梨県〉 三木重信 (山梨県本部理事)

〈長野県〉 北村俊郎 (駒ヶ根支部長)

〈静岡県〉 菅沼毅 (沼津支部長)

竹内忍 (浜北支部)

〈石川県〉 浅田彰伸 (小松支部幹事長)

〈福井県〉 坂本博昭 (奥越支部長)

〈岐阜県〉 小川弥太郎 (羽島支部)

〈愛知県〉 伊藤祐介 (西三岡崎支部)

藤澤敏道 (半田支部)

〈三重県〉 廣尾順三 (三重支部参与)

表彰状

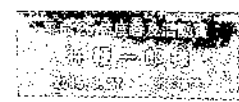
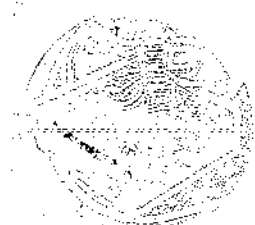
神奈川県 柿原一郎 様

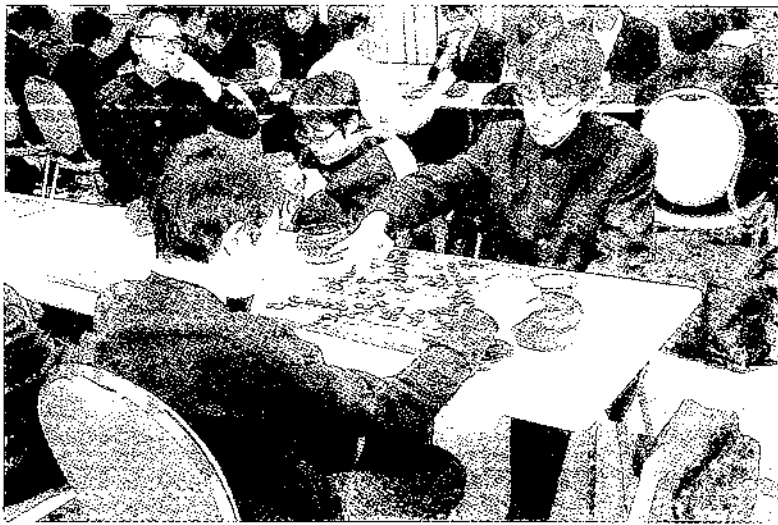
貴方は当地区の囲碁普及発展に寄与されその功績は著しきことにより、顕著であります。よってここに普及活動賞を贈り表彰します。

平成二十七年三月二十七日

日本棋院

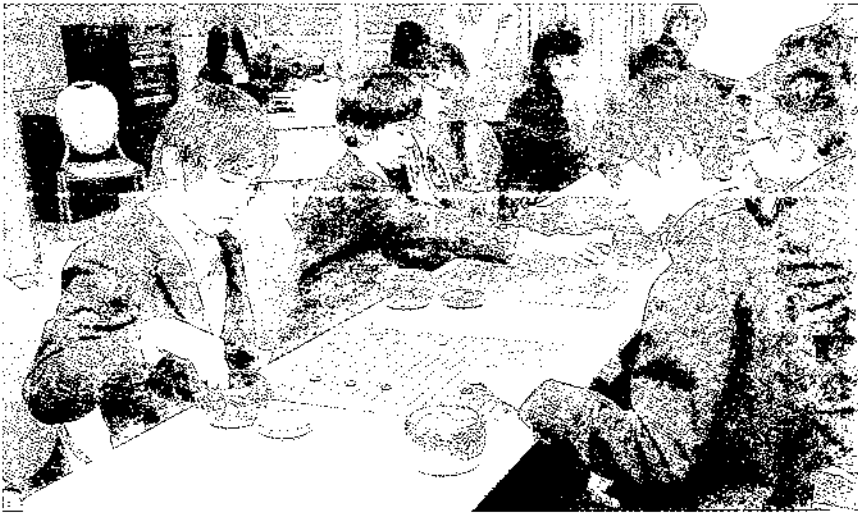
和日記文

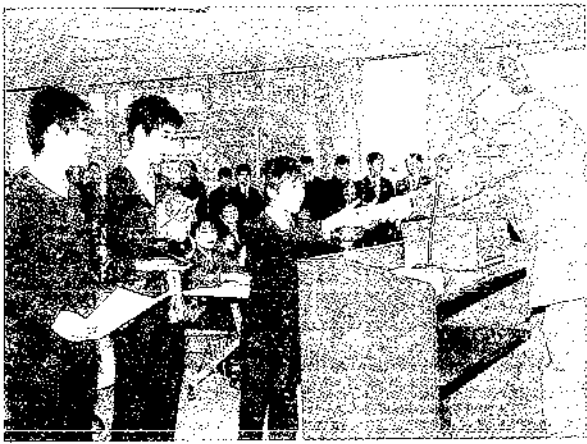
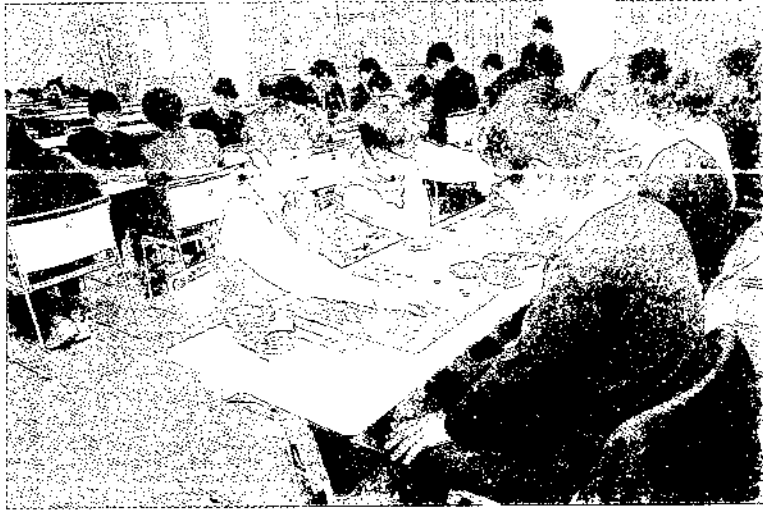




思い出の
写真







平成27(2015)年度 年間事業計画

日時	内容	会場	備考
6/14(日)	第36回文部科学大臣杯少年少女全国囲碁大会神奈川大会	相模原市民会館	小中学生
6/28(日)	第5回首都圏カップ争奪こども囲碁団体戦神奈川県代表決定戦	横浜本因坊手談	小中学生 (有段)
7/ 4(土)	第13回県央地区中学校囲碁選手権大会	相模原市立東林中学校	中学校団体戦
7/12(日)	第12回文部科学大臣杯小中学校囲碁団体戦神奈川県予選兼 第20回神奈川県中学校囲碁選手権大会	相模原市民会館	小学校団体戦 中学校団体戦
7/18(土)	第14回川崎市中学校囲碁選手権大会	川崎市立富士見中学校	中学校団体戦
7/21(火)	部活動顧問会議(中学校囲碁部顧問の先生方の研修会)	相模原市立東林中学校	部活動顧問
7/23(木)	第1回横浜市中学校囲碁選手権大会および交流戦	横浜市立港南中学校	中学校団体戦および個人戦
8/ 2, 3	第12回文部科学大臣杯小中学校囲碁団体戦全国大会	日本棋院	勝ち上がった学校
8/ 4, 5	第36回少年少女囲碁大会全国大会	日本棋院	勝ち上がった選手
8/ 9(日)	第5回首都圏カップ争奪こども囲碁団体戦	浦安市中央公民館	勝ち上がった選手
9/23(水祝)	第16回関東中学校囲碁選手権大会	いずみ囲碁ジャパン	中学校団体戦
10/25(日)	第5回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦 神奈川県予選	横浜本因坊手談	小学生 (有段者)
11/ 8(日)	2015神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	中学生
12/ 5(土)	第12回県央地区中学校囲碁選手権大会新人戦	相模原市立東林中学校	中学校団体戦
12/ 5(土)	第15回川崎市中学校囲碁選手権大会新人戦	川崎市立富士見中学校	中学校団体戦
12/23(祝)	第15回神奈川県中学校囲碁選手権大会新人戦兼 神奈川県小学校冬季囲碁団体戦	相模原市民会館	小学校団体戦 中学校団体戦
1/ 9(土)~ 10(日)	冬季囲碁研修会(中学校囲碁部顧問の先生方の研修会)	湯河原 杉の宿	各校顧問 役員・OB
2/ 7(日)	横浜市中学校囲碁強化リーグ2016 第1回	関内本因坊	中学生
2/14(日)	第2回私立中学校高等学校囲碁選手権大会	相模原市民会館	中学生 高校生
2/14(日)	神奈川県中学校囲碁連盟創立20周年記念式典	ワークピア横浜	各校顧問 役員・OB
3/ 6(日)	横浜市中学校囲碁強化リーグ2016 第2回	関内本因坊	中学生
2/28(日)	ゆうちよ杯ジュニア本因坊戦神奈川大会 段級位認定大会	神奈川県教育会館	小中学生
3/21(月祝)	2/28横浜会場 3/21相模原会場	相模原市民会館	

平成27年度 神奈川県中学校 囲碁活動校 一覧

No.	地区	学校名 (地区別あいうえお順)	活動生徒数						計	将棋部との 合同活動
			1年		2年		3年			
			男	女	男	女	男	女		
1	横浜	横浜市立秋葉中学校	2		7	2	2		13	
2	横浜	横浜市立大綱中学校	6		6		4	1	17	○
3	横浜	横浜市立港南中学校	11	1	1		9	4	26	
4	横浜	横浜市立西本郷中学校	11	2	4	1	2		20	
5	横浜	横浜市立深谷中学校		1	2				3	
6	横浜	横浜市立南中学校			12		11		23	
7	横浜	横浜市立領家中学校	5		6		4		15	
8	川崎	川崎市立川中島中学校	3		6		3		12	
9	川崎	川崎市立橋中学校			3		2		5	
10	川崎	川崎市立中野島中学校	4		1		6		11	
11	川崎	川崎市立東橋中学校					2		2	
12	川崎	川崎市立富士見中学校		2	1		1	2	6	
13	川崎	川崎市立枳形中学校	3	1	4	2	2	2	14	
14	相模原	相模原市立上溝中学校	4		2		2	1	9	
15	相模原	相模原市立新町中学校	3				3	2	8	
16	相模原	相模原市立東林中学校	4		7		8	3	22	
17	平塚	神奈川県立平塚中等教育学校	3		1	1	2		7	
18	平塚	平塚市立神明中学校	2		4		2	1	9	
19	平塚	平塚市立浜岳中学校	11		9	1	3	4	28	
20	藤沢	藤沢市立鶴沼中学校	3		6		2		11	○
21	大和	大和市立大和中学校	6	1	7		10		24	
22	私学	浅野学園 浅野中学校	2				5		7	○
23	私学	栄光学園中学校			1		3		4	
24	私学	逗子開成中学校			1		2		3	
25	私学	聖光学院中学校	1		2		1		4	
26	私学	桐蔭学園中学校	2		5		2		9	○
27	私学	森村学園中等部	1		3		3		7	○
合計			87	8	101	7	96	20	319	

神奈川県中学校園基連盟・歴代役員名簿一覧

◆ 平成27年度 役員

役職	氏名	所屬
会長	鬼丸 勉	横浜市立あざみ野中 校長
理事長	杵鞭 一郎	相模原市立東林中
事務局長	笠井 清隆	横浜市立秋葉中
会計	三浦 弘生	桐蔭学園中
会計監査	山田 豊	川崎市立富士見中
事務局 担当	杉山 登	逗子開成中
	浅野 雅彦	横浜市立港南中
	小田川 真悠	川崎市立中野島中
	安藤 楠々子	平塚市立神明中
	* 理事長・正副事務局長・会計含む	

役職	氏名	備考
顧問	高橋 三善	(二代目 会長)
"	三橋 敬夫	(三代目 会長)
"	齋木 孝道	(四代目 会長)
"	高橋 功	(五代目 会長)
"	榮 修吾	(六代目 会長)
"	吉川 春二	(元横浜市教育長)
"	米山 貞夫	(元連盟審判長)
"	松屋 優雄	(元副会長)
"	田中 弘之	(元副会長)
"	水野 晴行	(初代理事長)
"	飯野 詮芳	(二代目理事長)
"	石川 勝義	(三代目理事長)
"	仲野 隆一	(四代目理事長)
"	大澤 英男	(元事務局長)
"	大林 清	(元会計)
"	石田 唯之	(元会計)
"	堀田 重光	(元理事)
"	石黒 於菟彦	(元理事)

◆ 歴代役員

<会長>	任期
中村 正明	平成8年度
高橋 三善	平成9年度
三橋 敬夫	平成10~13年度
齋木 孝道	平成14~17年度
高橋 功	平成18~21年度
榮 修吾	平成22~24年度
鬼丸 勉	平成25年度~
<副会長>	
松屋 優雄	平成17~21年度
田中 弘之	平成22~26年度
<理事長>	
水野 晴行	平成8~13年度
飯野 詮芳	平成14~19年度
石川 勝義	平成20~22年度
仲野 隆一	平成23~26年度
杵鞭 一郎	平成27年度~
<事務局長>	
水野 晴行	平成8、9年度 (理事長兼任)
石川 勝義	平成10~12、16~18年度
大澤 英男	平成13~15年度
杵鞭 一郎	平成19~26年度
笠井 清隆	平成27年度~
<会計>	
石川 勝義	平成8、9年度
大林 清	平成10~12年度
坂本 作次	平成13~15年度
仲野 隆一	平成16、17年度
石田 唯之	平成18、19年度
田中 弘之	平成20、21年度
小田川 真悠	平成22~24年度
笠井 清隆	平成25、26年度
三浦 弘生	平成27年度~
<事務局>	
安田 秀世	(元理事)
川島 平太	(元理事)
小祝 洋輔	(元理事)



大会記録

まず、すべての大会結果を網羅してできていないことをお詫び申し上げます。
今回の編集作業では、以下の大会記録をまとめるまで手が回りませんでした。

- ・関東中学校囲碁選手権大会
- ・首都圏カップ争奪こども囲碁団体戦(前身:4都県こども囲碁大会)
- ・くらしき吉備真備杯こども棋聖戦 神奈川県予選

上記の大会の運営を支えていただいている、たくさんの方々に、
この場を借りて感謝とお詫びを申し上げます。

また、編纂した大会記録の中にもいくつか、欠けているものがございます。
この記念誌をご覧になった方で、追加の記録や、訂正などに気づかれた方がいらっしゃいましたら、
事務局までご連絡いただければ幸いです。

神奈川県中学校囲碁選手権大会(団体戦:夏季)

* 選手権戦の結果のみ

	実施日	優勝	準優勝	第3位	会場	参加校数	参加人数
第1回	H8.7.29	横浜市立豊田	横浜市立川和	横浜市立すすき野	横浜市立豊田中学校	3	42
第2回	H9.7.22	横浜市立豊田	横浜市立川和	横浜市立旭	横浜市立大正中学校	6	39
第3回	H10.7.22	横浜市立豊田	鎌倉学園	横浜市立川和	青少年センター	8	35
第4回	H11.7.22	横浜市立保土ヶ谷	横浜市立豊田	横浜市立名瀬	青少年センター婦人会館	12	82
第5回	H12.7.28	横浜市立保土ヶ谷	横浜市立名瀬	森村学園	青少年センター	14	105
第6回	H13.7.26	横浜市立南希望ヶ丘	横浜市立名瀬	横浜市立豊田	青少年センター婦人会館	17	118
第7回	H14.7.22	横浜市立南希望ヶ丘	川崎市立中野島	横浜市立泉が丘	相模原市民会館	19	112

以降は別ページ

神奈川県中学校囲碁選手権大会新人戦(団体戦:冬季)

* 選手権戦の結果のみ

	実施日	優勝	準優勝	第3位	会場	参加校数	参加人数
第1回	H13.12.23	横浜市立南希望ヶ丘	相模原市立上溝南	川崎市立中野島	川崎市立中野島中学校	15	115
第2回	H14.12.26	横浜市立南希望ヶ丘	相模原市立上溝南	栄光学園	青少年センター	25	161
第3回	H15.12.26	横浜市立栗田谷	横浜市立西	平塚市立神明	青少年センター	26	176
第4回	H16.12.25	平塚市立浜岳	川崎市立向丘	聖光学院	相模原市民会館	23	142

以降は別ページ

神奈川県中学校囲碁選手権大会(団体戦:夏季)

兼 文部科学大臣杯小、中学校囲碁団体戦神奈川県予選

大会予選	県選手権大会	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回
	文部科学大臣杯		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
	会場	相模原市民会館	横浜市立日吉台中	県教育会館	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館
	開催日	H15.7.22	H16.7.23	H17.7.10	H18.7.2	H19.7.8	H20.7.6	H21.7.5
	参加校	29校60チーム	32校71チーム	32校71チーム	21校50チーム	33校67チーム	26校59チーム	26校63チーム
	参加人数	200	240	230	158	206	200	200
選手権戦	優勝	平塚市立浜岳A	相模原市立上溝南A	聖光学院A	浅野	浅野	横浜市立西本郷A	平塚市立浜岳A
	準優勝	横浜市立向希望ヶ丘	平塚市立浜岳A	平塚市立神明A	相模原市立上溝南A	相模原市立上溝南A	浅野	平塚市立神明A
	第3位	神奈川大学附属	平塚市立神明A	桐蔭学園A	平塚市立浜岳A	聖光学院	平塚市立神明A	横浜市立西本郷A
	第4位	横浜市立十日市場	豊川町立豊川中原	平塚市立浜岳A	聖光学院	相模原市立上溝南A	平塚市立浜岳A	栄光学園
	第5位	横浜市立秋葉	横浜市立南希望ヶ丘	川崎市立向丘A	横浜市立岡津	湘南白百合学園	横浜市立名瀬	浅野A
	第6位	慶應義塾普通部A	慶應義塾普通部A	大和市立大和A	横浜市立領家A	平塚市立神明A	慶應義塾普通部A	横浜市立豊田A
	第7位	相模原市立上溝南		慶應義塾普通部A	桐蔭学園	平塚市立浜岳A	横浜市立豊田A	湘南白百合学園
	第8位	川崎市立中野島		相模原市立上溝南A	平塚市立神明A	横浜市立山内A	横浜市立岡津	横浜市立名瀬A
	第9位	栄光学園		横浜市立岩崎A	横浜市立西本郷A	栄光学園	湘南白百合学園	逗子開成A
	第10位	横浜市立西		栄光学園A	横浜市立西A	横浜市立岡津	相模原市立上溝南A	横浜市立領家A
	第11位	川崎市立東薨		横浜市立日吉台A	川崎市立東薨A	慶應義塾普通部A	横浜市立領家A	神奈川大学附属
	第12位	日本大学		横浜市立十日市場A	公文国際学園	横浜市立希望ヶ丘	桐蔭学園A	川崎市立富士見A
	第13位	平塚市立神明		横浜市立領家A		横浜市立大綱		
	第14位	横浜市立岩崎		川崎市立東薨A		桐蔭学園A		
	第15位	横浜市立日吉台		横浜市立西本郷A		横浜市立領家A		
	第16位	横浜市立豊田		川崎市立住吉A		日本女子大学付属		
A級戦	優勝	相模原市立上溝南C	相模原市立上溝南B	相模原市立上溝南B	相模原市立上溝南B	慶應義塾普通部B	横浜市立西本郷C	浅野B
	準優勝	川崎市立向丘	横浜市立十日市場A	川崎市立向丘B	相模原市立上溝南C	慶應義塾普通部C	横浜市立西本郷B	平塚市立浜岳C
	第3位	横浜市立南希望ヶ丘B	横浜市立領家A	平塚市立浜岳B	横浜市立錦台A	相模原市立上溝南B	横浜市立金沢A	横浜市立金沢A
	第4位	相模原市立上溝南B	聖光学院B	平塚市立神明B	横浜市立山内A	平塚市立神明B	桐蔭学園B	平塚市立浜岳B
	第5位	相模原市立相模台	川崎市立向丘B	桐蔭学園B	平塚市立浜岳B	横浜市立豊田A	横浜市立錦台A	横浜市立豊田B
B級戦	優勝	川崎市立向丘B	慶應義塾普通部B	相模原市立上溝南A	横浜市立錦台B	横浜市立西柴	平塚市立浜岳B	逗子開成B
	準優勝	横浜市立十日市場B	川崎市立中野島A	横浜市立領家C	横浜市立金沢A	横浜市立金沢A	川崎市立富士見A	川崎市立住吉
	第3位	横浜市立岩崎B	桐蔭学園B	横浜市立野庭A	桐蔭学園D	横浜市立錦台A	横浜市立秋葉B	横浜市立南B
	第4位	慶應義塾普通部C	横浜市立深谷A	横浜市立十日市場B	横浜市立西柴	横浜市立岩崎	横浜市立野庭	横浜市立西本郷B
	第5位	相模原市立相模台B	平塚市立神明B	平塚市立神明C	横浜市立山内B	大和市立大和A	川崎市立住吉	横浜市立錦台B
C級戦	優勝	相模原市立相模台C	川崎市立住吉A	横浜市立錦台A	横浜市立岩崎C	横浜市立金沢B	横浜市立金沢B	逗子開成C
	準優勝	川崎市立住吉	川崎市立東薨C	慶應義塾普通部C	横浜市立秋葉B	横浜市立西本郷D	相模原市立上溝南C	川崎市立富士見C
	第3位	相模原市立上溝	横浜市立南瀬谷B	横浜市立金沢A	横浜市立金沢B	横浜市立豊田B	平塚市立浜岳D	大和市立大和
	第4位	平塚市立浜岳B	横浜市立保土ヶ谷B	川崎市立東薨B	横浜市立錦台C	横浜市立南A	川崎市立東薨B	横浜市立秋葉B
	第5位	横浜市立山内	浜岳C 保土ヶ谷A	横浜市立西柴A	8チームで実施	川崎市立向丘A	大和市立大和B	相模原市立上溝南C
D級戦	優勝		平塚市立神明C	横浜市立秋葉B		相模原市立上溝南E	横浜市立豊田C	相模原市立上溝南B
	準優勝		川崎市立中野島B	横浜市立大綱B		横浜市立南B	横浜市立秋葉C	相模原市立上溝南F
	第3位		横浜市立山内C	横浜市立日吉台B		横浜市立南C	相模原市立上溝南D	相模原市立上溝南E
	第4位		横浜市立西柴B			横浜市立西本郷E	相模原市立上溝南E	相模原市立上溝南D
	第5位		横浜市立金沢A			相模原市立上溝南F	相模原市立上溝南F	相模原市立相模丘B

神奈川県中学校園基選手権大会(団体戦:夏季)

兼 文部科学大臣杯小、中学校園基団体戦神奈川県予選

大会 予選	県選手権大会	第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回	
	文部科学大臣杯	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	
	会場	相模原市民会館 相模原教育会館	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	神奈川県教育会館	相模原市民会館	相模原市民会館
	開催日	H22.7.11	H23.7.3	H24.7.1	H25.6.30&7.7	H26.6.29	H27.7.12	
	参加中学校 参加人数 (小学生)	33校88チーム 320	27校80チーム 320	27校73チーム 320	26校65チーム 249	24校68チーム 238	24校74チーム 262	
選手権戦	優勝	平塚市立浜岳A	県立平塚中等A	平塚市立浜岳A	平塚市立浜岳A	県立平塚中等教育	県立平塚中等教育A	
	準優勝	浅野A	浅野A	聖光学院	平塚市立神明	聖光学院	浅野	
	第3位	栄光学園	聖光学院A	県立平塚中等	県立平塚中等A	平塚市立浜岳A	聖光学院	
	第4位	暹子開成A	栄光学園	横浜国大附属鎌倉	桐蔭学園A	川崎市立金程	相模原市立東林A	
	第5位	県立平塚中等	暹子開成A	平塚市立神明A	横浜国立大綱	平塚市立神明A	相模原市立谷口	
	第6位	横浜市立名瀬A	桐光学園	栄光学園A	川崎市立富士見A	横浜市立領家A	平塚市立神明A	
	第7位	横浜市立西本郷A	平塚市立神明A	横浜市立名瀬A	相模原市立東林A	藤沢市立鶴沼A	平塚市立浜岳A	
	第8位	聖光学院	横浜市立西本郷A	桐蔭学園	鎌倉市立手広	川崎市立向丘A	桐蔭学園A	
	第9位	平塚市立神明A	神奈川大学附属	浅野	横浜市立領家A	浅野	藤沢市立鶴沼A	
	第10位	慶応義塾普通部A	桐蔭学園	相模原市立東林A	相模原市立新町A	桐蔭学園A	暹子開成	
	第11位	横浜市立錦台A	平塚市立浜岳A	横浜市立大綱	暹子開成A	相模原市立東林A	横浜市立南A	
	第12位	相模原市立相模丘	三浦市立初声	横浜市立領家A	横浜市立港南A	川崎市立富士見A	川崎市立向丘A	
A級戦	優勝	桐蔭学園A	相模原市立上瀬南A	県立平塚中等B	平塚市立浜岳B	平塚市立浜岳B	平塚市立浜岳B	
	準優勝	横浜市立豊田A	平塚市立神明B	平塚市立浜岳B	平塚市立浜岳C	横浜市立大綱A	平塚市立浜岳C	
	第3位	平塚市立浜岳B	県立平塚中等B	平塚市立浜岳D	平塚市立浜岳D	横浜市立秋葉A	平塚市立神明B	
	第4位	平塚市立浜岳C	横浜市立名瀬B	平塚市立浜岳C	横浜市立領家B	平塚市立神明B	横浜市立大綱A	
	第5位	平塚市立神明B	横浜市立大綱	川崎市立川中島A	平塚市立浜岳E	茅ヶ崎市立篠田	横浜市立秋葉A	
B級戦	優勝	暹子開成B	相模原市立新町A	平塚市立神明B	横浜市立大綱B	横浜市立秋葉B	横浜市立港南A	
	準優勝	横浜市立南A	平塚市立神明C	横浜市立港南	藤沢市立鶴沼	相模原市立東林D	茅ヶ崎市立篠田	
	第3位	慶応義塾普通部B	相模原市立上瀬南B	相模原市立新町A	暹子開成B	川崎市立向丘B	川崎市立羽形A	
	第4位	相模原市立上瀬A	相模原市立東林C	栄光学園B	横浜市立秋葉A	藤沢市立鶴沼B	相模原市立東林C	
	第5位	横浜市立錦台B	横浜市立錦台A	相模原市立相模丘	川崎市立橋B	横浜市立西本郷A	横浜市立秋葉B	
C級戦	優勝	相模原市立上瀬B	川崎市立向丘A	暹子開成	川崎市立向丘A	横浜市立大綱B	横浜市立西本郷B	
	準優勝	平塚市立浜岳E	平塚市立神明D	平塚市立浜岳G	横浜市立秋葉B	川崎市立中野島A	相模原市立上瀬B	
	第3位	相模原市立東林C	横浜市立錦台B	川崎市立向丘A	横浜市立大綱C	横浜市立南A	横浜市立大綱B	
	第4位	横浜市立南B	横浜市立秋葉A	川崎市立橋C	川崎市立東橋B	相模原市立東林E	川崎市立中野島B	
	第5位	相模原市立東林B	川崎市立富士見B	相模原市立新町B	相模原市立東林D	横浜市立西本郷B	藤沢市立鶴沼B	
D級戦	優勝	慶応義塾普通部C	平塚市立浜岳C	横浜市立領家D	相模原市立新町C	平塚市立神明E	横浜市立西本郷C	
	準優勝	横浜市立領家D	相模原市立東林E	平塚市立浜岳H	相模原市立東林E	川崎市立中野島B	川崎市立羽形B	
	第3位	相模原市立上瀬C	川崎市立橋B	川崎市立橋F	横浜市立南B	横浜市立領家D	平塚市立浜岳G	
	第4位		平塚市立浜岳D	平塚市立浜岳I	川崎市立向丘B	平塚市立神明D	川崎市立中野島C	
	第5位		横浜市立南C	横浜市立秋葉D	横浜市立領家D	横浜市立秋葉D	横浜市立大綱C	

神奈川県中学校園基選手権大会新人戦(団体戦:冬季)

大会 データ		第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回
	会場	横浜青少年センター	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館
	開催日	H15.12.26	H16.12.25	H17.12.24	H18.12.17	H19.12.23	H20.12.21	H21.12.20
	参加校	26校55チーム	23校46チーム	23校42チーム	27校46チーム	24校40チーム	29校50チーム	24校51チーム
参加人数	178	150	131	150	118	156	159	
選手権戦	優勝	横浜市立栗田谷	平塚市立浜岳A	相模原市立上溝南A	聖光学院A	浅野	平塚市立浜岳A	平塚市立浜岳A
	準優勝	横浜市立西	川崎市立向丘A	平塚市立浜岳A	横浜市立岡津	横浜市立西本郷A	横浜市立西本郷A	逗子開成A
	第3位	平塚市立神明	聖光学院A	横浜市立松本	相模原市立上溝南A	横浜市立希望ヶ丘	横浜市立豊田A	浅野A
	第4位	相模原市立上溝南	平塚市立神明A	聖光学院A	桐蔭学園A	平塚市立神明A	湘南白百合学園	平塚市立神明A
	第5位	川崎市立東橋	横浜市立領家A	逗子開成	横浜市立山内A	慶應義塾普通部A	栄光学園	県立平塚中等A
	第6位	相模原市立相模台	横浜市立栗田谷A	桐蔭学園A	平塚市立神明A	横浜市立岡津	横浜市立名瀬A	横浜市立豊田A
	第7位		大和市立大和A	平塚市立神明A	横浜市立西本郷A	聖光学院A	聖光学院	聖光学院
	第8位	第4回第13-16位	桐蔭学園A	横浜市立西A	慶應義塾普通部A	横浜市立山内A	平塚市立神明A	横浜市立名瀬A
	第9位	相模原市立上溝	横浜市立西A	慶應義塾普通部A	横浜市立大綱A	横浜市立領家A	浅野	
	第10位	川崎市立東橋A	横浜市立十日市場A	横浜市立大綱A	平塚市立浜岳A	相模原市立上溝南A	横浜市立領家A	8チームで実施
	第11位	横浜市立野庭	川崎市立住吉A	川崎市立東橋A	横浜市立領家A			
	第12位	横浜市立豊田	相模原市立上溝南A	横浜市立西本郷A	川崎市立東橋A	10チームで実施	10チームで実施	
A級戦	優勝	相模原市立上溝南	桐蔭学園A	相模原市立上溝南B	相模原市立上溝南B	横浜市立豊田A	平塚市立浜岳B	浅野B
	準優勝	川崎市立向丘	川崎市立向丘B	相模原市立上溝南C	平塚市立神明B	横浜市立西本郷C	慶應義塾普通部A	慶應義塾普通部A
	第3位	横浜市立南瀬谷	聖光学院B	横浜市立領家A	慶應義塾普通部B	横浜市立西本郷B	桐蔭学園A	横浜市立西本郷
	第4位	横浜市立豊田	相模原市立上溝南C	相模原市立上溝	聖光学院B	横浜市立金沢	川崎市立富士見A	平塚市立浜岳C
	第5位	深谷 & 上溝南	相模原市立上溝南D	慶應義塾普通部B	桐蔭学園B	横浜市立西	横浜市立豊田B	慶應義塾普通部B
B級戦	優勝	横浜市立領家	横浜市立西柴	相模原市立上溝南D	横浜市立金沢	横浜市立野庭	横浜市立錦台A	逗子開成B
	準優勝		逗子開成A	横浜市立西柴	平塚市立神明C	横浜市立豊田B	相模原市立相模丘A	平塚市立神明B
	第3位		横浜市立西C	平塚市立浜岳C	横浜市立豊田A	川崎市立東橋	川崎市立住吉A	横浜市立南
	第4位		横浜市立山内A	川崎市立東橋B	横浜市立秋葉A	横浜市立西本郷D	横浜市立秋葉A	慶應義塾普通部C
	第5位		横浜市立金沢	相模原市立上溝南E	慶應義塾普通部D	横浜市立秋葉	横浜市立豊田C	浅野C
C級戦	優勝			桐蔭学園C	横浜市立金沢B	川崎市立向丘A	横浜市立錦台B	横浜市立名瀬B
	準優勝			横浜市立西B	横浜市立西A	横浜市立南B	慶應義塾普通部C	相模原市立上溝南C
	第3位			横浜市立山内B	日本女子大学附属	大和市立大和B	大和市立大和	相模原市立上溝南B
	第4位				大和市立大和		横浜市立名瀬B	横浜市立豊田B
	第5位				川崎市立住吉A		横浜市立秋葉B	横浜市立錦台B
D級戦	優勝				横浜市立岩崎B			相模原市立新町B
	準優勝				横浜市立南A			平塚市立神明C
	第3位				川崎市立向丘A			相模原市立上溝南D
	第4位							
	第5位							

* 枠線なしは同順位

神奈川県中学校園募選手権大会新人戦(団体戦:冬季)

		第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
大会 デー タ	会場	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	県教育会館	県教育会館	相模原市民会館
	開催日	H22.12.19	H23.12.23	H24.12.23	H25.12.23	H26.12.21	H27.12.23
	参加中学校	30校63チーム	28校53チーム	44チーム	45チーム	25校53チーム	20校45チーム
	参加人数 (小学生含)	223	209	160	160	138	135
選手 権 戦	優勝	県立平塚中等A	県立平塚中等A	県立平塚中等A	平塚市立浜岳A	聖光学院	聖光学院
	準優勝	平塚市立神明A	平塚市立神明A	平塚市立浜岳A	栄光学園	平塚市立神明A	県立平塚中等A
	第3位	浅野A	平塚市立浜岳A	相模原市立東林A	平塚市立神明A	浅野	桐蔭学園A
	第4位	横浜市立名瀬A	浅野A	平塚市立神明A	横浜市立領家A	逗子開成	平塚市立浜岳A
	第5位	聖光学院	聖光学院	栄光学園	県立平塚中等A	県立平塚中等	平塚市立神明A
	第6位	栄光学園	藤沢市立鶴沼	横浜市立大綱	桐蔭学園A	栄光学園	横浜市立南A
	第7位	横浜市立西本郷A	横浜市立大綱	横浜市立領家A	横浜市立秋葉A	平塚市立浜岳A	相模原市立東林A
	第8位	平塚市立浜岳A	川崎市立川中島A	横浜市立港南A	浅野	桐蔭学園A	藤沢市立鶴沼A
	第9位	横浜市立豊田A	栄光学園A	桐蔭学園	川崎市立向丘A	相模原市立東林A	
	第10位	川崎市立富士見A	横浜市立名瀬A	川崎市立富士見A	川崎市立富士見A	藤沢市立鶴沼A	8チームで実施
	第11位	横浜市立南A	桐蔭学園	相模原市立新町A	相模原市立東林A		
	第12位	逗子開成A	三浦市立初声	三浦市立初声	横浜市立南A	10チームで実施	
A 級 戦	優勝	神奈川県大学附属	相模原市立東林A	平塚市立浜岳C	平塚市立浜岳B	平塚市立浜岳B	平塚市立浜岳B
	準優勝	県立平塚中等B	平塚市立浜岳C	平塚市立浜岳D	横浜市立秋葉B	平塚市立浜岳C	川崎市立中野島A
	第3位	相模原市立上流南A	県立平塚中等B	平塚市立浜岳B	平塚市立浜岳C	平塚市立神明B	横浜市立秋葉A
	第4位	慶応義塾普通部A	横浜市立領家A	横浜市立領家B	藤沢市立鶴沼A	川崎市立向丘A	平塚市立浜岳C
	第5位	相模原市立東林A	平塚市立浜岳B	川崎市立富士見B	川崎市立橋A	横浜市立南A	平塚市立浜岳D
B 級 戦	優勝	平塚市立神明C	横浜市立南	横浜市立秋葉A	横浜市立秋葉C	横浜市立南B	川崎市立枳形A
	準優勝	相模原市立新町	栄光学園B	横浜市立秋葉B	相模原市立新町	平塚市立神明C	横浜市立西本郷B
	第3位	横浜市立西本郷B	平塚市立浜岳D	平塚市立浜岳H	平塚市立浜岳D	相模原市立東林C	平塚市立浜岳E
	第4位	横浜市立領家B	相模原市立東林C	川崎市立東橋	横浜市立大綱	横浜市立西本郷A	横浜市立大綱A
	第5位	川崎市立橋A	横浜市立領家B	川崎市立橋B	県立平塚中等B	横浜市立港南A	横浜市立南B
C 級 戦	優勝	相模原市立上流B	平塚市立浜岳E	川崎市立向丘	横浜市立南B	横浜市立南C	相模原市立東林D
	準優勝	横浜市立南B	川崎市立富士見B	相模原市立上流B	川崎市立中野島A	川崎市立中野島A	横浜市立港南
	第3位	横浜市立錦台A	川崎市立橋C	川崎市立橋D	横浜市立南C	横浜市立秋葉B	相模原市立東林C
	第4位	相模原市立東林D	相模原市立東林D			川崎市立枳形A	川崎市立枳形B
	第5位	横浜市立瀬谷	逗子開成			相模原市立東林D	横浜市立西本郷C
D 級 戦	優勝	横浜市立錦台B				川崎市立橋	
	準優勝	川崎市立向丘B				川崎市立枳形B	
	第3位	横浜市立錦台C				横浜市立西本郷B	
	第4位	川崎市立向丘C				川崎市立向丘B	
	第5位	横浜市立秋葉				平塚市立神明D	

文部科学大臣杯小学校園基団体戦神奈川県予選(団体戦:夏季)

大会 予 夕	文部科学大臣杯	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	
	会場	相模原市民会館 相模原教育会館	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	神奈川県教育会館	相模原市民会館	相模原市民会館
	開催日	H22.7.11	H23.7.3	H24.7.1	H25.6.30&7.7	H26.6.29	H27.7.12	
小学校の部	優勝	川崎市立上丸子小	川崎市立千代ヶ丘小A	川崎市立新城小	相模原市立鶴園小	相模原市立鶴園小	川崎市立東菅小	
	準優勝	川崎市立千代ヶ丘小A	相模原市立鶴園小	相模原市立鶴園小	川崎市立新城小	川崎市立千代ヶ丘小	川崎市立王禅寺中央小	
	第3位	葉山町立葉山小	鎌倉市立西鎌倉小A	茅ヶ崎市立梅田小	川崎市立千代ヶ丘小A	川崎市立真福寺小	川崎市立新城小	
	第4位	鎌倉市立西鎌倉小	鎌倉市立西鎌倉小B	藤沢市立鶴洋小	鎌倉女子大初等部	川崎市立王禅寺中央小	川崎市立千代ヶ丘小A	
	第5位	相模原市立鶴園小	川崎市立千代ヶ丘小C	川崎市立千代ヶ丘小A	茅ヶ崎市立梅田小	川崎市立西生田小	川崎市立片平小	
	第6位	横国大附属鎌倉小	葉山町立葉山小		精華小	川崎市立片平小	川崎市立西生田小	
	第7位	川崎市立千代ヶ丘小B	藤沢市立鶴洋小		藤沢市立鶴洋小	川崎市立柿生小	川崎市立百合ヶ丘小	
	第8位	三浦市立初声小	横国大附属鎌倉小		鎌倉市立西鎌倉小		川崎市立柿生小	
	第9位	鎌倉市立御成小	三浦市立初声小		川崎市立真福寺小		川崎市立千代ヶ丘小B	
	第10位	横浜市立つじヶ丘小	川崎市立新城小		川崎市立千代ヶ丘小B			
	第11位	横浜市立大豆戸小	川崎市立金程小		川崎市立王禅寺中央小			
	第12位		川崎市立千代ヶ丘小D		川崎市立西生田小			
	第13位		横浜市立大豆戸小					
	第14位		鎌倉女子大初等部					

神奈川県小学校冬季園基選手権大会(団体戦:冬季)

大会 予 夕	文部科学大臣杯	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
	会場	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	県教育会館	県教育会館	相模原市民会館
	開催日	H22.12.19	H23.12.23	H24.12.23	H25.12.23	H26.12.21	H27.12.23
小学校の部	優勝	横浜市立つじヶ丘小	川崎市立新城小	相模原市立鶴園小	相模原市立鶴園小	参加校なし	参加校なし
	準優勝	三浦市立初声小A	横国大附属鎌倉小A	茅ヶ崎市立梅田小	川崎市立新城小		
	第3位	横浜市立大豆戸小A	三浦市立初声小A	鎌倉女子大初等部	茅ヶ崎市立梅田小		
	第4位	相模原市立鶴園小	鎌倉女子大初等部	川崎市立千代ヶ丘小A	平塚市立豊田小		
	第5位	三浦市立初声小B	横浜市立西が岡小	鎌倉市立西鎌倉小A	三浦市立初声小		
	第6位	横浜市立大豆戸小B	相模原市立鶴園小	三浦市立初声小	三浦市立宮田小		
	第7位	川崎市立土橋小	鎌倉市立西鎌倉小A	川崎市立千代ヶ丘小B			
	第8位	横浜市立菊名小	鎌倉市立西鎌倉小B	藤沢市立片瀬小			
	第9位		精華小	鎌倉市立西鎌倉小B			
	第10位		三浦市立初声小B	鎌倉市立腰越小			
	第11位		三浦市立上宮田小				
	第12位		横国大附属鎌倉小B				
	第13位		横浜市立大豆戸小				
	第14位		横浜市立能見台小				

文部科学大臣杯少年少女囲碁大会神奈川県予選 兼 神奈川県小中学生囲碁段級位認定大会

大会データ	文部科学大臣杯	第26回						第27回	第28回	第29回	第30回	第31回						第32回	第33回	第34回	第35回	第36回	第37回
	県認定大会	第9回						第10回	第11回	第12回	第13回	第14回						第15回	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
	会場	相模原教育会館						相模原教育会館	相模原教育会館	県教育会館	県教育会館	平塚勤労会館						県教育会館	保土ヶ谷公会堂&相模原市民会館	相模原市民会館	川崎市立橘中	相模原市民会館	相模原市民会館
	開催日	H16.7.4						H17.6.19	H18.6.18	H19.6.10	H20.5.25	H21.5.24						H22.5.30	H24.5.29&6.5	H24.6.3	H25.6.2	H26.5.4	H27.6.14
	参加人数							226	214	220	232	318						325	335	330	188	186	249
小学生の部	第1位	金沢 真	第1位	金沢 真	小笠原 洋志	山田 亮	諫山 周平	石原 康佑	小学生の部	第1位	芝野 虎丸	山岡 秋桜	鈴木 智大	犬丸 翔太	後藤田 晃平	後藤田 晃平							
	第2位	諫山 周平	第2位	千枝 光司	諫山 周平	諫山 周平	村並 朝子	佐野 飛鳥		第2位	重田 一就	藍谷 慎太郎	李 博暉	齋山 天彪	芝野 すす	林田 茜							
	第3位	宮本 千尋	第3位	小森 公陽	小俣 亮	平山 由佳里	小笠 大樹	谷 結衣子		第3位	廣瀬 理佳子	高嶋 漢吾	齊山 天彪	李 博暉	廣瀬 和奏	川田 輝							
			第4位	鈴木 淳	福田 ひかる	谷 結衣子	谷 結衣子	齊藤 正樹		第4位	山岡 秋桜	福田 章太郎	犬丸 翔太	後藤田 晃平	川田 輝	壺川 明司							
			第5位	山田 亮	南塚 亜輝	小林 大樹	矢部 貴大	小林 大樹		第5位	福田 章太郎	李 博暉	永井 究	林田 茜	近藤 健人	廣瀬 和奏							
中学生の部	第1位	京門 道子	第6位	西山 拓人	原 英嵩	小林 優介				中学生の部	第1位	佐野 飛鳥	前田 暖	谷 麻衣子	山岡 秋桜	山岡 秋桜	山室 亞弥						
	第2位	福室 真字	第7位	野口 拓也	鈴木 淳	志慶 真誠					第2位	前田 暖	秋葉 光一郎	高嶋 漢吾	向山 卓身	高嶋 漢吾	齋山 天彪						
	第3位	常石 隆志	第8位	原 英嵩	小林 優介	南塚 亜輝					第3位	谷 麻衣子	佐野 飛鳥	逗野 あかね	北寄 司誠	早川 詩乃	藍谷 慎太郎						
			第9位	南塚 亜輝	浪江 峻史	小俣 亮					第4位	櫻井 友樹	北寄 司誠	廣瀬 理佳子	早川 詩乃	山本 康	北澤 遥莉						
			第10位	筒井 桃子	筒井 桃子	筒井 桃子					第5位	和田 京介	谷 麻衣子	山岡 秋桜	秋山 翔吾	安藤 俊介	式田 征史						

ゆうちょ杯 ジュニア本因坊戦 神奈川県大会

2009以前はボンド杯

平成17年は全日本こども囲碁大会

全日本こども	
会場	相模原教育会館
開催日	H15.3.20
参加人数	215
優勝	岡田 量
準優勝	常石 隆史
第3位	津久井 和也
第4位	諫山 周平
第5位	鈴木 貴裕
第6位	片山 尚亮
第7位	
第8位	
第9位	
第10位	

全日本こども	ボンド杯	ボンド杯	ボンド杯	ボンド杯	第13回
県教育会館	県教育会館	相模原市民会館	県教育会館	県教育会館	相模原市民会館
H17.3.21	H18.3.25	H19.3.21	H20.3.9	H21.3.8	H22.2.28
165	172	215	160	155	160
藤野 雅也	南塚 亜輝	齊藤 正樹	石村 竜青	諫山 周平	硯川 俊正
金沢 真	平山 由佳里	諫山 周平	齊藤 正樹	齊藤 正樹	石原 康佑
大関 稔	平野 佑騎	山田 亮	諫山 周平	佐野 飛鳥	谷 麻衣子
渡邊 拓希	石村 竜青	新居 示雄	前田 暖	小林 大樹	前田 暖
平野 翔大	西山 拓人	小俣 亮	福田 ひかる	谷 結衣子	小林 大樹
西山 拓人	藤野 雅也	筒井 桃子	野口 航一	福田 ひかる	谷 結衣子
齊藤 正樹	川崎 英夫	谷 麻衣子	谷 麻衣子	前田 暖	伊藤 惇
宮本 浩平	福田 ひかる	石村 竜青	小林 大樹	硯川 俊正	堀野 一穂
山田 亮	原 英嵩	平山 由佳里	谷 結衣子	野村 美奈	齊藤 正樹
	大関 稔	小山 空也	矢部 貴大	谷 麻衣子	櫻井 友樹

第14回	第15回	第16回	第17回	第18回
県教育会館	相模原市民会館	相模原市民会館	相模原市民会館	県教育会館
H23.3.6	H24.2.26	H25.2.10	H26.2.23	H27.3.8
179	181	181	167	156
前田 暖	谷 麻衣子		犬丸 翔太	後藤田 晃平
平尾 有倫	前田 暖		後藤田 晃平	高嶋 漢吾
谷 麻衣子	北寄 司誠		赤星 光	吉本 圭吾
重田 一就	鈴木 智大			
李 博暉	酒井 晴太郎			
齊藤 正樹	山岡 秋桜			
山岡 秋桜	養原 千花歩			
秋葉 光一郎	高嶋 漢吾			
渡辺 優作	井上 晴方			
吉本 賢司	山下 雄太郎			

川崎地区大会(囲碁選手権大会および囲碁新人選手権大会)

実施日	大会名	選手権戦			A級戦			参加校数	参加人数
		優勝	準優勝	第3位	優勝	準優勝	第3位		
H15.7.30	第2回	東橋A	中野島A	橋A				5校16チーム	
H15.12.7	第2回 新人戦	東橋A	向丘A	東橋B				3校9チーム	
H16.7.19	第3回	東橋A	向丘A	向丘B	4位 東橋B	5位 中野島A	6位 向丘C	5校16チーム	
H16.12.18	第3回 新人戦	向丘B	橋A	向丘A	住吉A	東橋B	橋B	4校9チーム	27
H17.7.16	第?回	向丘A	橋A	向丘B	東橋A	東橋B	橋B	6校11チーム	30
H17.12	第4回 新人戦								
H18.1.14	第?回 新人戦	東橋A	東橋B	住吉	4位 向丘			3校4チーム	13
H18.7.17	第?回	山内A	東橋A	橋A	住吉A	山内B	橋B	5校9チーム	27
H18.12.9	第?回 新人戦	東橋			山内	住吉	向丘	4校7チーム	20
H19.7.22	第6回	東橋A	向丘A	橋A	4位 中野島	5位 東橋B	6位 橋B	4校7チーム	22
H20.1.13	第7回 新人戦	東橋A	橋	向丘	4位 東橋B	5位 住吉		4校5チーム	16
H20.7.24	第7回	東橋A	富士見A	向丘A	富士見B	中野島	向丘B	6校11チーム	31
H20.12	第8回 新人戦								
H21.6.28	第8回	富士見A	東橋A	向丘A	東橋B	富士見C	橋	5校8チーム	23
H21.12.13	第9回 新人戦	富士見A	川中島	富士見B	4位 橋	5位 向丘	6位 中野島	5校6チーム	18
H22.7	第9回								
H22.12	第10回 新人戦								
H23.7.26	第10回	富士見A	川中島A	向丘A	向丘B&橋B		川中島C	5校16チーム	47
H23.12.1	第11回 新人戦	川中島A	富士見A	川中島B	富士見B	向丘C	橋B	5校11チーム	33
H24.7.1	第11回	川中島A	富士見A	橋A	川中島B	富士見C	橋E	?	?
H24.12.9	第12回 新人戦	富士見A	川中島	富士見B	向丘			5校10チーム	28
H25.7.23	第12回	富士見A	東橋A	向丘A	東橋B	橋C	橋D	6校18チーム	50
H25.12	第13回 新人戦								
H26.7.20	第13回	向丘A	富士見A	橋A	枳形A	橋B	川中島A	7校17チーム	45
H26.12.6	第14回 新人戦	向丘A	川中島A	中野島A	橋A	枳形A		7校13チーム	29
H27.7.18	第14回	向丘A	中野島A	川中島A	橋A	枳形B	枳形C	7校14チーム	40
H27.12.5	第15回 新人戦	中野島A	枳形A	向丘A	中野島B	枳形B	向丘B	6校9チーム	26

私立中学校高等学校囲碁選手権大会

実施日	大会名	選手権戦			A級戦			参加校数	参加人数
		優勝	準優勝	第3位	優勝	準優勝	第3位		
H27.2.15	第1回	栄光学園A	平塚中等A	聖光学園A 桐蔭学園A	平塚中等C	逗子開成A	栄光学園B	8校15チーム	48

県央地区大会(囲碁選手権大会および選手権大会新人戦)

実施日		選手権戦			A級戦			参加校数	参加人数
		優勝	準優勝	第3位	優勝	準優勝	第3位		
H15	第1回								
H15.12.6	第1回 新人戦	上澗南A	大和A	上澗南B				4校15チーム	
H16.7.19	第2回	上澗南A	相模丘A	上澗南B	大和A	上澗南C	上澗南D	4校17チーム	47
H16.12.11	第2回 新人戦	上澗南A	大和A	上澗南B	上澗南D	相模台	上澗南E	4校10チーム	29
H17.7.3	第3回	上澗南A	大和A	上澗南B	大和B	上澗南E	上澗	4校12チーム	34
H17.12.10	第3回 新人戦	上澗南A	上澗南B	大和A	上澗南D	大和B	上澗南E	3校9チーム	27
H18.8.3	第4回	上澗南A	上澗南B	上澗南C	大和A	上澗	上澗南E	3校10チーム	31
H18.12.9	第4回 新人戦	上澗南A	大和A	上澗	上澗南B	上澗南C		3校7チーム	19
H19.6.30	第5回	上澗南A	大和	上澗	上澗南B	上澗南C	上澗南D	3校6チーム	18
H19.12.8	第5回 新人戦	上澗南A	大和A	上澗	上澗南B	上澗南C	大和B	3校7チーム	20
H20.6.28	第6回	上澗南A	上澗	相模丘	上澗南B	上澗南C		4校8チーム	26
H20.12.6	第6回 新人戦	上澗南A	相模丘A	大和	上澗南B	上澗南C	相模丘B	5校8チーム	24
H21.6.27	第7回	相模丘A	上澗南A	新町	上澗南C	上澗南B	上澗B	5校11チーム	37
H21.12.5	第7回 新人戦	相模丘A	上澗南A	上澗A	上澗南C	上澗南B	上澗B	4校11チーム	34
H22.7.3	第8回	上澗南A	相模丘A	上澗A	上澗南B	上澗南C	新町B	5校16チーム	52
	第8回 新人戦	上澗南A	東林A					5校	
H23.6.18	第9回	上澗南A	東林A					5校	
H23.12.3	第9回 新人戦	東林A	新町A	大和A	東林B	新町B	大和B	4校8チーム	?
H24.7.25	第10回	東林A	新町A	大和A	東林B	東林C	東林D	5校13チーム	41
H24.12.8	第10回 新人戦	東林A	新町A	上澗A	東林B	東林C	新町B	4校8チーム	?
H25.7.23	第11回	東林A	新町A	上澗A	東林B	東林C	新町B	4校13チーム	37
	第11回 新人戦	東林A	新町A	上澗A	東林B	東林C	新町B	4校9チーム	27
	第12回	東林A	新町A	上澗A	東林B	東林C	東林D	3校11チーム	32
H26.12.6	第12回 新人戦	東林A	新町A	上澗A	東林B	東林C	東林D	3校8チーム	24
H27.7.4	第13回	東林A	新町A	上澗A	東林B	東林C	東林D	4校14チーム	43
H27.12.5	第13回 新人戦	東林A	新町A	上澗A	東林B	東林D	東林C	4校9チーム	26

横浜市中学校囲碁選手権大会(選手権大会および交流戦)

実施日		優勝	準優勝	第3位	第4位	第5位	第6位	参加校数	参加人数
H27.7.23	第1回	南	西本郷	秋葉および港南	六綱	領家		6校	80

段級位認定大会

実施日	大会名称	会場	参加人数
H15.3.20	全日本こども囲碁大会 第5回神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	215
H15.3.27	全日本こども囲碁大会 第5回神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	172
H17.3.27	全日本こども囲碁大会 第6回神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	161
H17.3.21	全日本こども囲碁大会 第6回神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	165
H17.10.23	2005神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	179
H18.3.21	ボンド杯ジュニア囲碁本因坊戦 第7回神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	192
H18.3.25	ボンド杯ジュニア囲碁本因坊戦 第7回神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	172
H18.10.29	2006神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	176
H19.3.18	ボンド杯ジュニア囲碁本因坊戦 第8回神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	165
H19.3.21	ボンド杯ジュニア囲碁本因坊戦 第8回神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	315
H19.10.28	2007神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	195
H20.3.9	ボンド杯ジュニア囲碁本因坊戦 第9回神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	160
H20.3.20	ボンド杯ジュニア囲碁本因坊戦 第9回神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	153
H20.10.5	2008神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	165
H21.3.1	ボンド杯ジュニア囲碁本因坊戦 第10回神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	155
H21.3.8	ボンド杯ジュニア囲碁本因坊戦 第10回神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	155
H21.5.24	第14回神奈川県小中学生囲碁段級位認定大会	平塚市労務会館&青少年会館	314
H21.10.4	2009神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	182
H22.2.28	ゆうちょ杯 第13回ジュニア本因坊戦 神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	160
H22.3.7	ゆうちょ杯 第13回ジュニア本因坊戦 神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	166
H22.6.20	第15回神奈川県中学校囲碁段級位認定大会(小学生の部)	宇宙棋院	80
H22.10.3	2010神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	平塚市労務会館	354
H23.10.2	2011神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	206
H24.11.4	2012神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	180
H25.6.2	第18回神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	川崎市立橘中学校	188
H25.10.27	2013神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	185
H26.2.23	ゆうちょ杯 第17回ジュニア本因坊戦 神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	167
H26.3.9	ゆうちょ杯 第17回ジュニア本因坊戦 神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	159
H26.5.4	第19回神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	相模原市民会館	186
H26.11.2	2014神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	161
H27.6.14	第20回神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	相模原市民会館	249
H27.3.8	ゆうちょ杯 第18回ジュニア本因坊戦 神奈川大会 横浜会場	神奈川県教育会館	156
H27.3.22	ゆうちょ杯 第18回ジュニア本因坊戦 神奈川大会 相模原会場	相模原市民会館	119
H27.11.8	2015神奈川県中学校囲碁段級位認定大会	神奈川県教育会館	142

神奈川県中学校囲碁連盟のホームページ

<http://www.ne.jp/asahi/kanagawa.jhs/go.league/index.html>

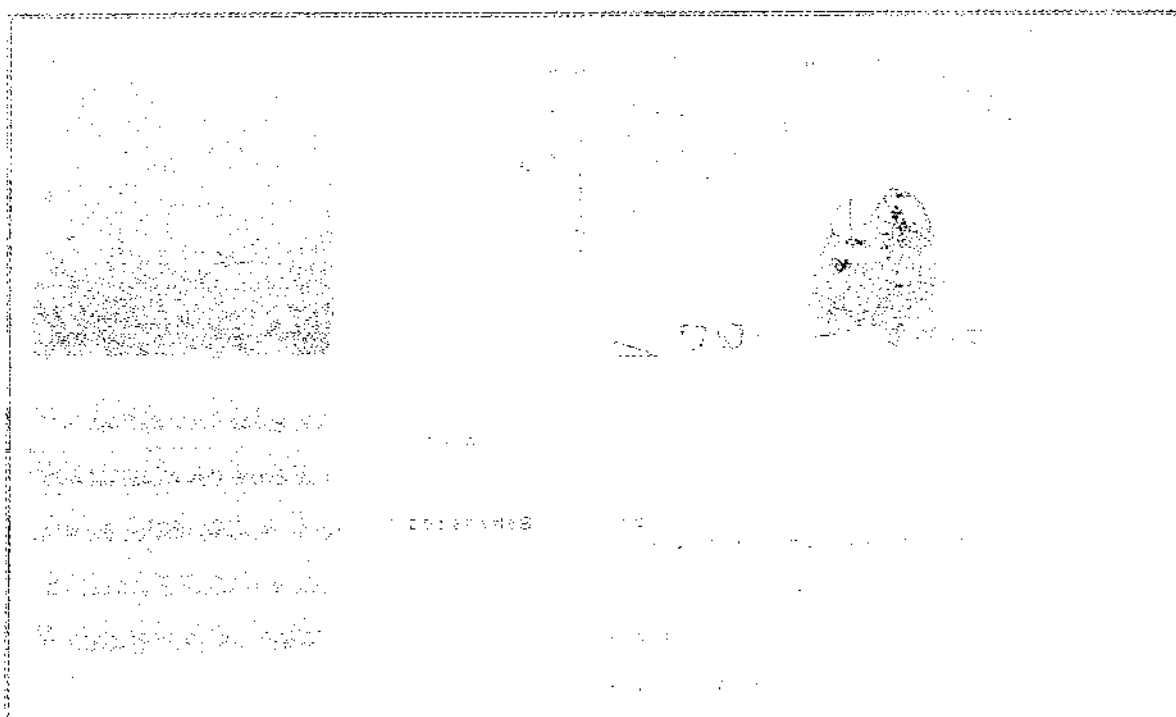
2013年5月より、こちらの新ホームページで情報を公開しています。

(※旧ホームページは現在閲覧できない状態です。)

トップページ：更新状況をお知らせしています。関連団体へのリンクもあります。

スケジュール：大会日程および会場の一覧です。

大会結果：主催大会の結果を公開しています。



神奈川県中学校囲碁連盟 20周年記念誌

発行日：平成 28 年 2 月 14 日

編集委員：石川勝義、杵鞭一郎、笠井清隆、安藤楠々子、
三浦弘生、杉山登、浅野雅彦、小田川真悠

製本印刷：東京総合写真